



## BCP Setting Tool

### B-EX6 シリーズ詳細マニュアル

---

- このたびは本機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- お読みになったあとは本機のそばなど、いつも手元においてお使いください。

# 目次

目次	1
1 はじめに	1
対象プリンタ .....	1
2 起動	2
プリンタ側 .....	2
PC 側 .....	3
3 準備	4
メイン画面 .....	4
メニュー .....	6
ファイル .....	6
編集 .....	8
表示 .....	9
カスタム言語ファイル .....	10
ヘルプ .....	11
プリンタ .....	12
USB .....	14
LAN .....	15
COM .....	17
環境設定 .....	19
[インターフェース] .....	19
[オプション] .....	20
パスワード変更 .....	22
処理画面 .....	23
進行画面 .....	23
完了画面 .....	24
進行状況 .....	25
4 機能	27
パラメータ設定 .....	27
一般タブ .....	29
一般 (2)タブ .....	34
一般 (3)タブ .....	38
デバイスタブ .....	40
LAN タブ .....	42
無線 LAN タブ .....	45
無線 LAN (2)タブ .....	48
RFID タブ .....	50
メンテナンス .....	53
情報タブ .....	53
設定タブ .....	54
ダウンロード .....	59
ファームウェアダウンロードタブ .....	59
BASIC ダウンロードタブ .....	61
エミュレーションダウンロードタブ .....	64
OpenTypeFont ダウンロードタブ .....	68
HTML/XML ROM 作成タブ .....	70
ツール .....	72
ツールタブ .....	72
外字作成タブ .....	73
テスト印字タブ .....	77
エミュレーション .....	80

Z MODE システムパラメータ設定 .....	80
Z Mode システムパラメータ設定タブ .....	80
Z MODE 初期値&テーブル設定 .....	84
Z Mode 初期値設定タブ .....	84
Z Mode フォントコンバートテーブルタブ .....	88
Z Mode ドライブマッピングタブ .....	91
Z Mode 応答コマンドタブ .....	92
D MODE 初期値設定 .....	99
D Mode 初期値設定タブ .....	99
D Mode 応答コマンドタブ .....	102
5 付録 .....	105
エラーメッセージ一覧 .....	105

---

# 1 はじめに

---

このたびは東芝テック製ラベルプリンタ用の設定ツール『BCP Setting Tool』をご利用いただき、誠にありがとうございます。

本書は、『BCP Setting Tool（以下本製品）』の各モデルの機能等の概要を記載した説明書です。

## 対象プリンタ

本マニュアルは以下のプリンタについて記載しています。

- B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi)
- B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi)

## 2 起動

---

### プリンタ側

印刷を行なうためのオンラインモード（以後オンラインモード）でアイドル状態のプリンタに対して実行してください。

プリンタがオンラインモードでない、または、アイドル状態でない場合、機能が実行されません。

例外として、ファイル送信とリセットの機能を使用する場合、プリンタの状態に関係なく機能が実行されます。但し、プリンタの状態によって機能が有効にならない場合があります。この場合、プリンタの電源を OFF/ON してください。

パラメータ設定で変更したパラメータの設定値は設定完了直後から反映されます。

変更するパラメータによっては、プリンタ設定や環境設定の変更が必要になります。

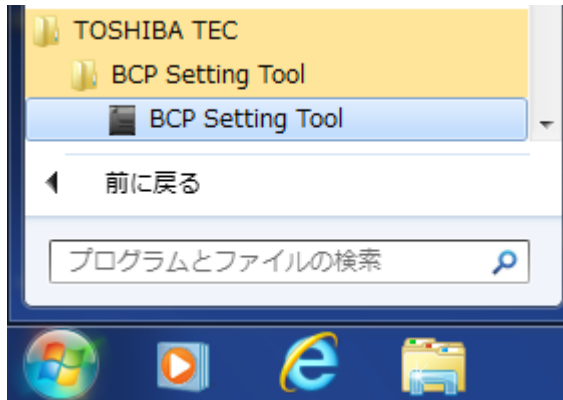
無線 LAN のセキュリティ情報を変更した場合、コンピュータのセキュリティの設定を変更してください。

LAN の IP アドレス、ポート番号、ホスト名を変更した場合、プリンタ設定が通信可能な設定に自動的に変更されます。

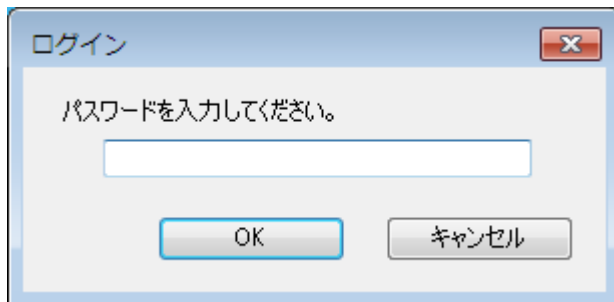
制御コードを変更した場合、環境設定が処理可能な設定に自動的に変更されます。

## PC側

1. [スタート] – [すべてのプログラム] – [TOSHIBA TEC] – [BCP Setting Tool] の [BCP Setting Tool] をクリックします。



2. パスワードが設定された場合、[ログイン] 画面が表示されます。



パスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。  
[キャンセル] をクリックすると、[ログイン] 画面を終了します。  
入力した文字は隠し文字で表示されます  
パスワードが正しい場合、本製品が起動されます。  
パスワードが間違っている場合、エラーメッセージが表示されます。

3. 本製品が起動後、[プリンタ設定] 画面が表示されます。  
プリンタとインターフェースを設定して、各機能を実行してください。

## 3 準備

### メイン画面

[プリンタ設定] 画面を表示した状態で起動されます。



#### メニューバー

各機能の操作を補助するための機能が使用できます。

#### メニューアイコン

選択した機能に切替えることができます。

アイコンをクリックすると、対応した機能がメインビューに表示されます。

選択したアイコンにはカーソルが置かれ、他のアイコンと違う色で表示されます。

**プリンタ：** 接続するプリンタのタイプとインターフェースの設定を行ないます。

**パラメータ設定：** プリンタの各種パラメータの取得、設定を行ないます。

- ・一般タブ、一般(2)タブ、一般(3)タブ： 基本的な動作や微調整に関連する設定
- ・デバイスタブ： インターフェース等のデバイスに関連する設定
- ・LAN タブ： ネットワークに関連する設定
- ・無線 LAN タブ、無線 LAN (2)タブ： 無線 LAN に関連する設定
- ・RFID タブ： RFID に関連する設定

**メンテナンス：** プリンタのメンテナンス情報の取得、初期化を行ないます。

- ・情報タブ： プリンタの自己診断・メンテナンス情報の取得・保存。
- ・設定タブ： メモリのセットアップ等に関する処理

**ダウンロード：** プリンタのファームウェアのダウンロードを行います。

- ・ファームウェアダウンロードタブ： プリンタのファームウェアのダウンロード
- ・BASIC ダウンロードタブ： BASIC プログラムのダウンロード
- ・エミュレーションダウンロードタブ： Z Mode BASIC プログラムのダウンロード
- ・OpenTypeFont タブ： OpenTypeFont のダウンロード
- ・HTML/XML ROM 作成タブ： HTML/XML の ROM ファイルの作成

ツール：その他の機能を使用できます。

- ・ ツールタブ： 選択したファイルのバイナリ送信
- ・ 外字作成タブ： 外字を登録するための外字ファイルの作成
- ・ テスト印字タブ： 通信や印字品質等を確認するためのテスト発行

エミュレーション：エミュレーションパラメータ等の設定を行います。

- ・ Z Mode システムパラメータ設定： Z Mode のシステムモードパラメータを設定します。
- ・ Z Mode 初期値&テーブル設定タブ： Z Mode の初期値、フォント変換テーブル、ドライブの割当てを設定します。
- ・ D Mode 初期値設定タブ： D Mode の初期値を設定します。

#### ヘッダービュー

プリンタと通信する条件が表示されます。  
[プリンタ設定] 画面で指定した設定が反映されます。

#### [オプション...]

本製品の動作条件を変更するための[環境設定]画面が表示されます。  
表示言語を変更する場合、本製品の再起動が必要です。

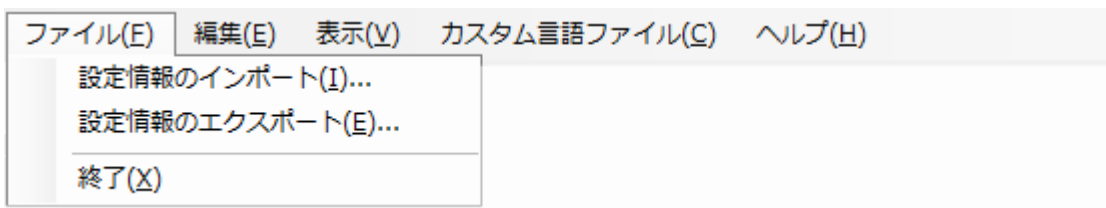
#### メインビュー

「メニューアイコン」で選択したアイコンに対応した機能の画面が表示されます。  
本製品で使用可能な機能は、本画面内の操作で実行します。



## メニュー

### ファイル



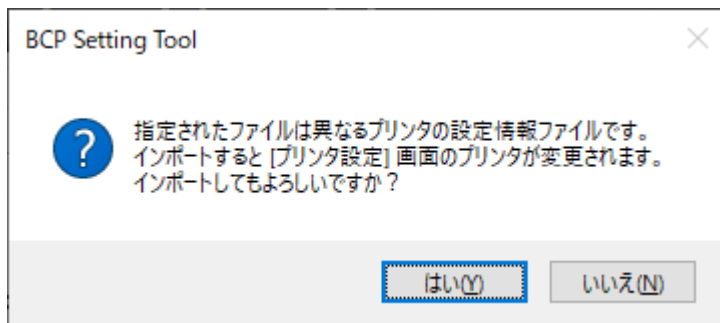
#### [設定情報のインポート(I)...]

指定したファイルから設定情報を読み出します。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

クリックすると、[インポート] 画面が表示されます。設定情報を読み出すファイルを指定して [開く] をクリックすると、インポートが実行されます。

設定情報ファイルが [プリンタ設定] 画面のプリンタのファイルではない場合、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、[プリンタ設定] 画面のプリンタを変更し、インポートを実行します。

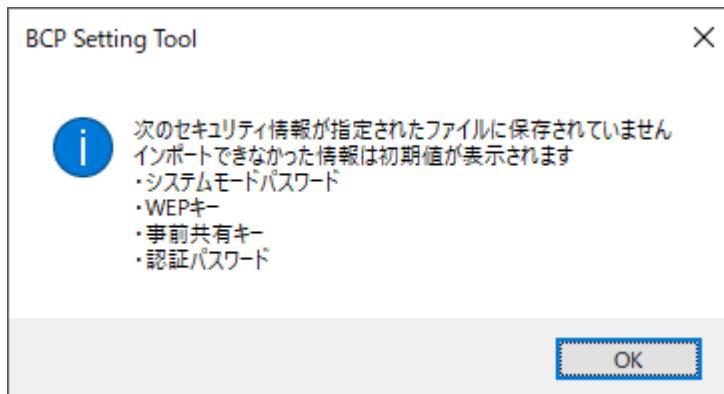
[いいえ] をクリックすると、インポートを中止します。

指定されたファイルが設定情報ファイルではない場合、エラーメッセージが表示されます。

保存したときの設定画面の状態を再現することができます。

パラメータの設定値以外に各グループのチェックボックスの設定も再現されます。

指定したファイルにセキュリティ情報が無い場合、以下のメッセージが表示されます。



※セキュリティ情報の対象となるパラメータは機種やバージョンによって異なります。

指定したファイルにセキュリティ情報がある場合、インポートしたセキュリティ情報は全て隠し文字で表示されます。

#### [設定情報のエクスポート(E)...]

指定したファイルに設定情報を保存します。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

クリックすると、[エクスポート] 画面が表示されます。設定情報を保存するファイルを指定して [保存] をクリックすると、エクスポートが実行されます。

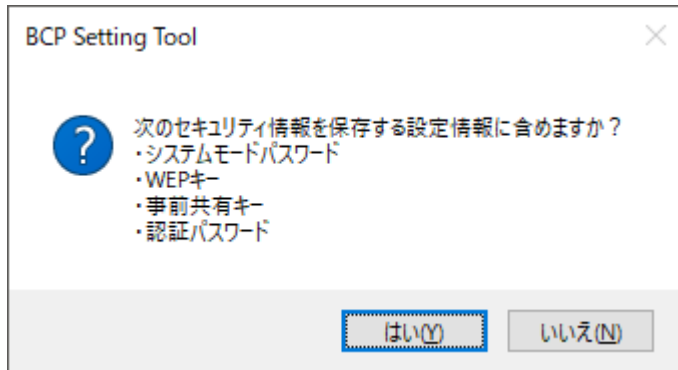
指定されたファイルに書き込みができない場合、エラーメッセージが表示されます。

現在の設定画面の状態が保存されます。

パラメータの設定値以外に各セクションのチェックボックスの設定も保存されます。

※パラメータの設定値が全桁スペースの場合、そのデータは保存されません。

保存する時に以下のメッセージが表示されます。



※セキュリティ情報の対象となるパラメータは機種やバージョンによって異なります。

セキュリティ情報を保存する場合、[はい] をクリックしてください。セキュリティ情報は重要な情報であるため、ファイルの保管には注意してください。

セキュリティに情報を保存しない場合、[いいえ] をクリックしてください。

#### [終了(X)]

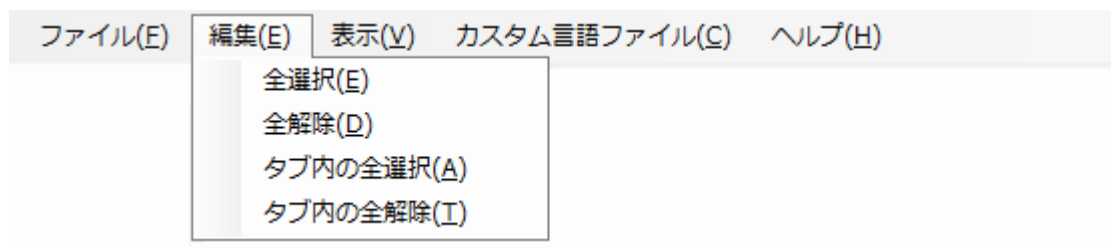
現在の設定を破棄して、本製品を終了します。

但し、[プリンタ設定] 画面と[環境設定] 画面の設定は変更時に保存されます。

次回の起動時に[プリンタ設定] 画面と[環境設定] 画面以外の画面は初期値で表示されます。

## 編集

---



### [全選択(E)]

タブに関係なく、全てのグループのチェックボックスをチェック有りにします。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

### [全解除(D)]

タブに関係なく、全てのグループのチェックボックスをチェック無しにします。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

### [タブ内の全選択(A)]

タブ内の全てのグループのチェックボックスをチェック有りにします。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

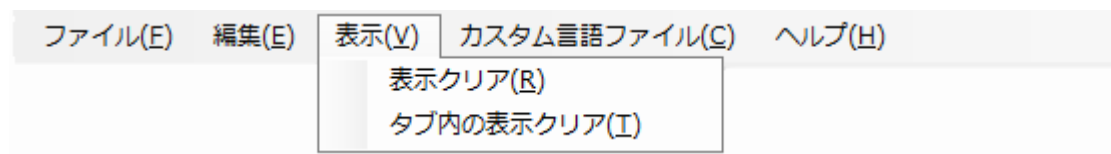
### [タブ内の全解除(T)]

タブ内の全てのグループのチェックボックスをチェック無しにします。

[パラメータ設定] 画面のみで有効になります。

## 表示

---



### [表示クリア(R)]

全てのタブの設定値がデフォルト値に戻ります。

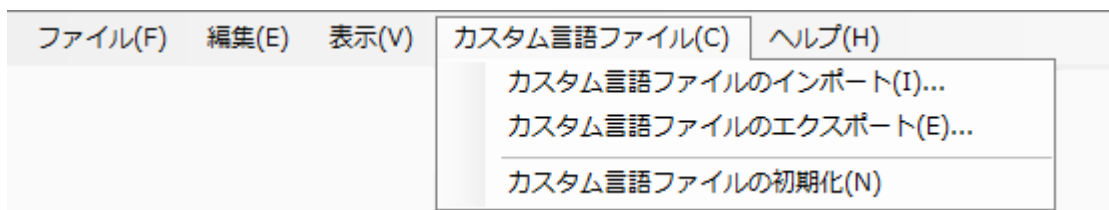
【パラメータ設定】画面のみで有効になります。

### [タブ内の表示クリア(T)]

表示中の画面を起動時の状態に初期化します。

【パラメータ設定】画面を使用する場合、表示中のタブの設定値がデフォルト値に戻ります。

## カスタム言語ファイル



### [カスタム言語ファイルのインポート(I)]

指定したファイルからカスタム言語ファイルを読み込みます。

クリックすると、[インポート]画面が表示されます。ファイルの種類を [カスタム言語ファイル(\*.CTM)] を選択すると、すべてのプリンタの定義、メッセージのカスタム言語ファイルがインポートされます。[ライセンスファイル(\*.rtf)] を選択すると、Open Type Font ダウンロード時の使用許諾文のカスタム言語ファイルがインポートされます。

カスタム言語ファイルを指定して [開く] をクリックすると、インポートが実行されます。

指定されたファイルが設定情報ファイルではない場合、エラーメッセージが表示されます。

### [カスタム言語ファイルのエクスポート(E)]

指定したファイルにカスタム言語ファイルを保存します。

クリックすると、[エクスポート]画面が表示されます。ファイルの種類を [カスタム言語ファイル(\*.CTM)] を選択すると、すべてのプリンタの定義、メッセージのカスタム言語ファイルをエクスポートします。[ライセンスファイル(\*.rtf)] を選択すると、Open Type Font ダウンロード時の使用許諾文のカスタム言語ファイルをエクスポートします。

指定されたファイルに書き込みができない場合、エラーメッセージが表示されます。

### [カスタム言語ファイルの初期化(N)]

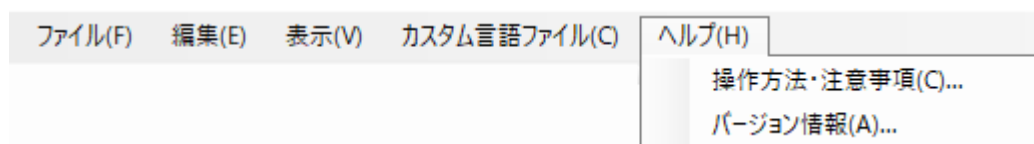
確認画面が表示されます。



[いいえ] をクリックすると、初期化を中止します。[はい] をクリックすると、すべてのプリンタの定義、メッセージ、Open Type Font の使用許諾文を英語に戻します。

## ヘルプ

---



[操作方法・注意事項(C)...]

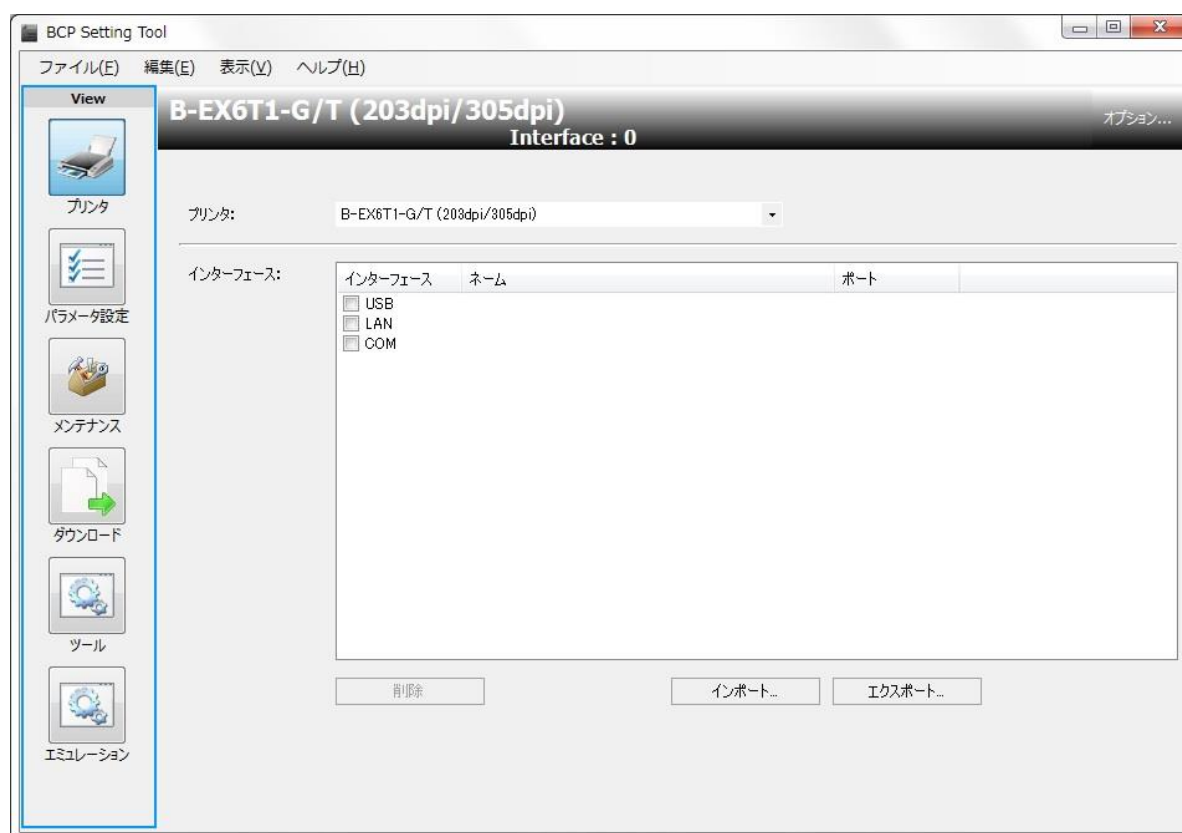
B-EX6 シリーズ詳細マニュアルを表示します。

[バージョン情報(A)...]

バージョン情報を表示します。

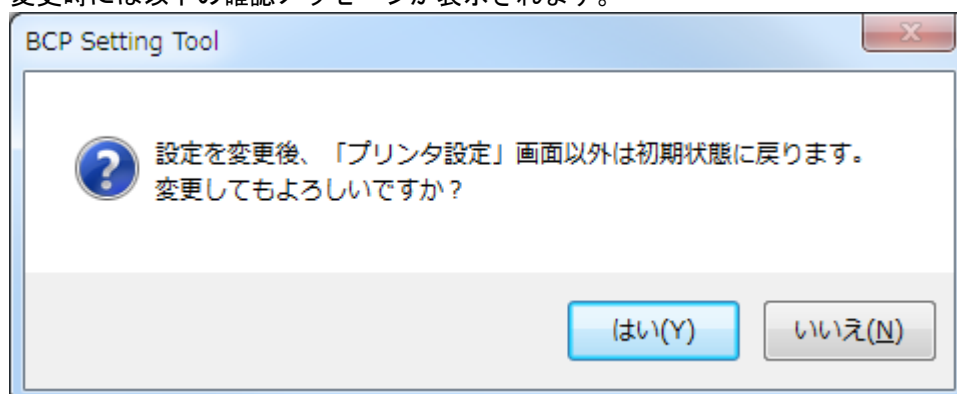
# プリンタ

本製品で接続するプリンタのタイプとインターフェースの設定を行ないます。  
「メニューアイコン」の「プリンタ」をクリックすると、表示されます。



## [プリンタ]

接続するプリンタを選択します。  
変更する場合、本製品の再起動が必要になります。  
選択したプリンタと接続されたプリンタが異なる場合、正常に動作しません。  
必ず接続するプリンタと同じプリンタを選択してください。  
変更すると「プリンタ」画面以外は初期状態に戻ります。  
変更時には以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、設定を保存後、本製品の再起動が実行されます。  
「いいえ」をクリックすると、設定を保存しないで、「環境設定」画面に戻ります。

[インターフェース]

接続するインターフェースを選択します。

インストール直後のデフォルト値は、未選択になります。

変更した時点で設定値は保存され、ヘッダービューのインターフェースの表示に反映されます。

USB、LAN、COM を選択すると、通信パラメータの設定が表示されます。

選択したインターフェースとその通信パラメータがプリンタへの通信で使用されます。

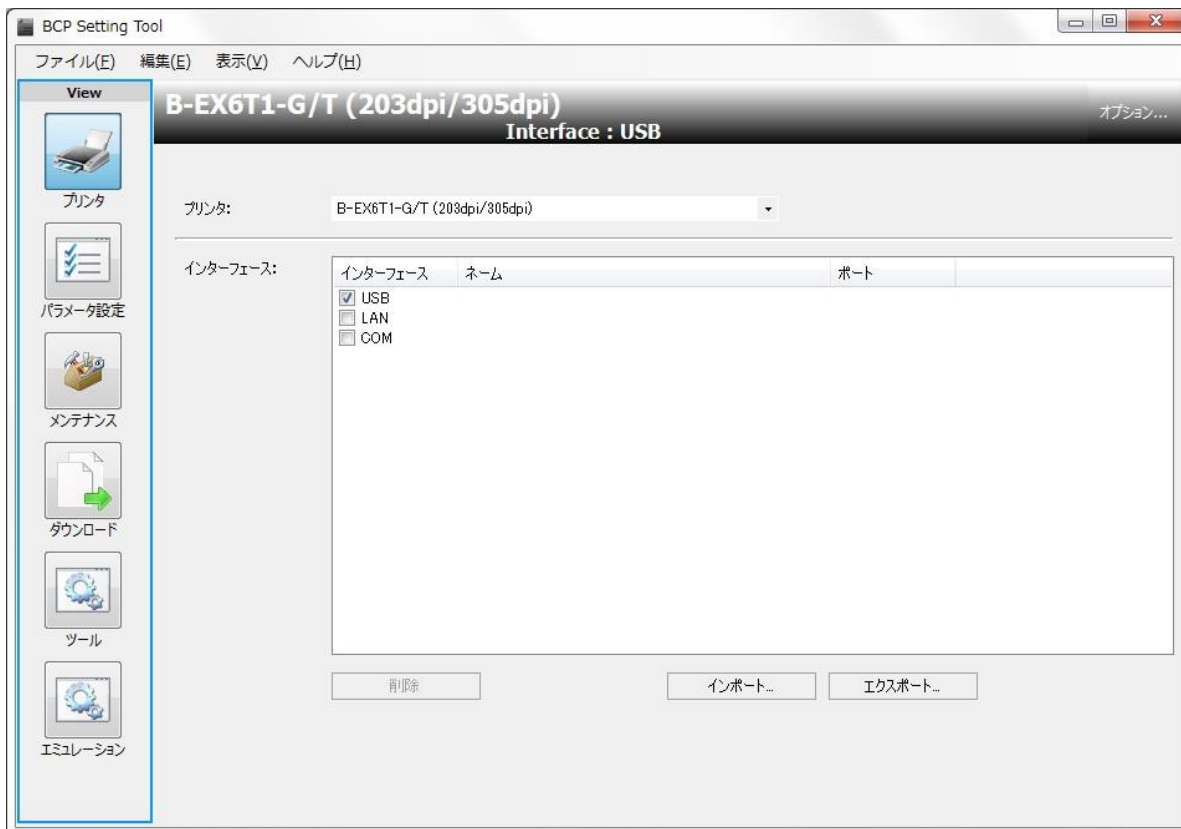
LAN は最大 50 台のプリンタが設定できます。

設定項目	USB、LAN、COM
------	-------------

注意： COM を使用する場合、インストールされたプリンタドライバのポートを設定値以外のポートに指定してください。プリンタドライバのポートと同じインターフェースを設定した場合、正常に通信できないことがあります。

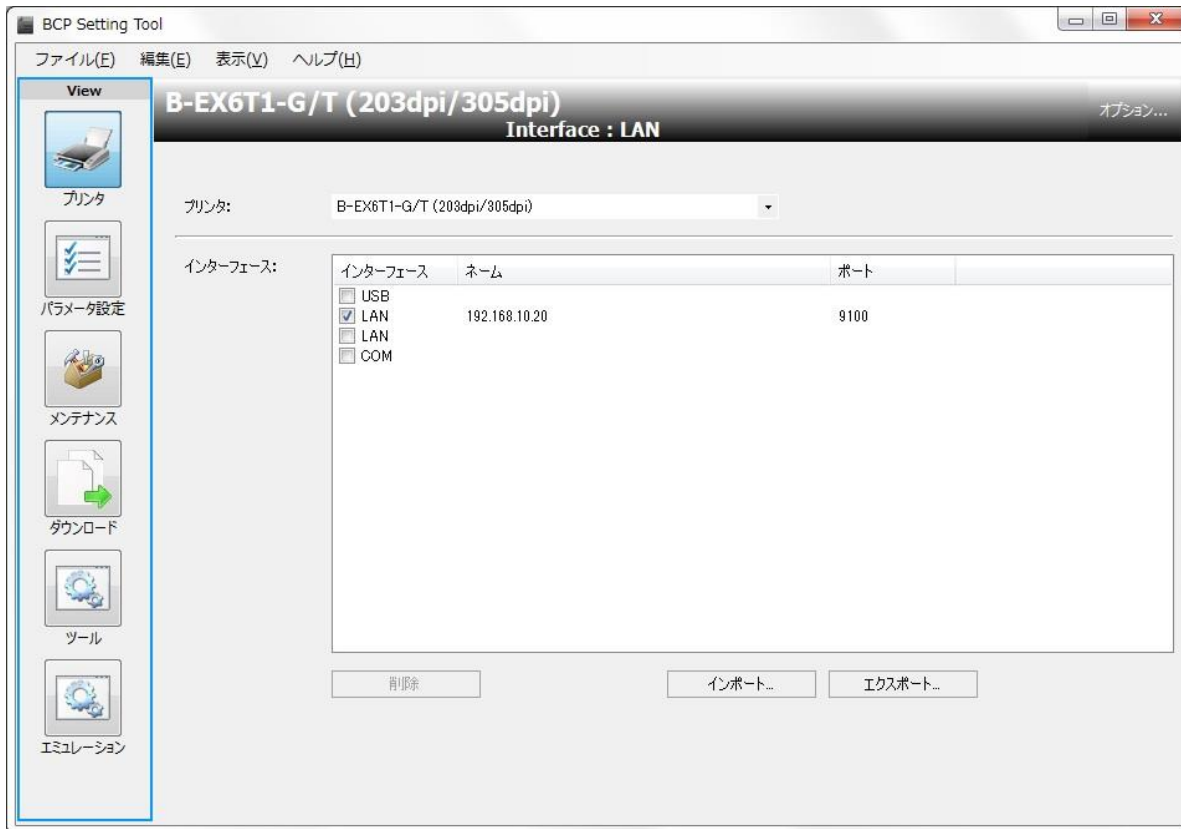


## USB



PC 本体とプリンタを USB ケーブルで接続すると、自動で有効になります。

## LAN



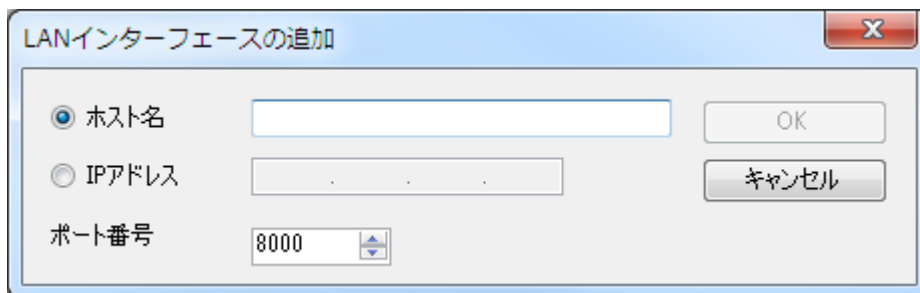
### [ネーム]

接続するプリンタに設定されたホスト名または IP アドレスを表示します。

### [ポート番号]

接続するプリンタに設定されたポート番号を表示します。

[LAN]チェックボックスを有効にすると、“LAN インターフェースの追加” ダイアログが表示されます。



[OK] をクリックするとダイアログを閉じ、インターフェースリストに設定が反映されます。

[キャンセル] をクリックすると、処理をキャンセルします。

### [ホスト名]

接続するプリンタに設定されたホスト名を指定します。

最大 255 文字までの半角英数字を入力してください。

### [IP アドレス]

接続するプリンタに設定された IP アドレスを指定します。

「X.X.X.X」の形式で入力してください。

#### [ポート番号]

接続するプリンタに設定されたポート番号を指定します。  
デフォルト値は、機種毎に異なります。

設定範囲	0～65535
------	---------

LAN インターフェースは 50 台を超える設定はサポート外となります。

## COM



### [ネーム]

COM ポートの各パラメータを表示します。

COM チェックボックスをクリックすると COM インターフェースの追加ダイアログを表示します。



[OK] をクリックするとダイアログを閉じ、インターフェースリストに設定が反映されます。

[キャンセル] をクリックすると、処理をキャンセルします。

### [ポート番号]

COM ポート番号を選択します。

設定項目	OS が認識している COM ポート
------	--------------------

### [ボーレート]

接続するプリンタに設定された RS-232C ポートのボーレートを選択します。

設定項目	2400 bps、4800bps、9600 bps、19200 bps、38400 bps、115200 bps
------	--

[データ長]

接続するプリンタに設定された RS-232C ポートのデータ長を選択します。

設定項目	7 bits, 8 bits
------	----------------

[パリティ]

接続するプリンタに設定された RS-232C ポートのパリティを選択します。

設定項目	なし、偶数、奇数
------	----------

[ストップビット]

接続するプリンタに設定された RS-232C ポートのストップビットを選択します。

設定項目	1 bit, 2 bits
------	---------------

## 環境設定

本製品の動作条件の設定を行ないます。

ヘッダービューの一番横の [オプション...] ボタンをクリックすると、表示されます。

### [インターフェース]

The screenshot shows a dialog box titled 'オプション' (Options) with a close button (X) in the top right corner. It has two tabs: 'インターフェース' (Interface) and 'オプション' (Options). The 'インターフェース' tab is selected. Inside the tab, there are several settings:

- ☒ 複数選択(M) (Multiple selection): A checkbox that is currently checked.
- 最大同時通信(A): (Maximum simultaneous communication): A numeric spinner box set to 10.
- ☐ 起動時にパラメータを取得(G) (Acquire parameters at startup): An unchecked checkbox.
- LAN: A text input field.
- デフォルト・ドメイン名(D): (Default domain name): A text input field.
- USB: A text input field.
- ☐ 再起動待ち合わせ時間(W): (Restart waiting time): An unchecked checkbox.
- 5 秒 (5 seconds): A numeric spinner box set to 5, followed by the unit '秒' (seconds).

At the bottom of the dialog box are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel).

#### [複数選択(M)]

複数のインターフェースへ通信する場合、チェックを有効にします。

#### [最大同時通信(A)]

複数のインターフェースへ通信する場合、同時に通信可能な最大数を設定します。

#### [起動時にパラメータを取得(G)]

アプリケーション起動時にパラメータを取得します。

有効なインターフェースが接続されていない場合取得しません。

#### [デフォルト・ドメイン名(D)]

デフォルトドメイン名を指定します。

LAN インターフェース使用時、指定したホスト名と本設定を連結して接続します。

#### [再起動待ち合わせ時間(W)]

USB 通信でのプリンタが再起動する時の待ち合わせ時間を 1 ～ 1 0 0 秒の範囲で設定します。

通常は変更する必要はありません。

ダウンロード等で通信エラーが発生する場合に、待ち合わせ時間を延ばすと正常に完了する場合があります。

再起動待ち合わせ時間をチェックすると設定可能となります。

## [オプション]

オプション

インターフェイス オプション

言語(L): 日本語

制御コード(C): 自動

コード1(1): 1B

コード2(2): A

コード3(3): 0

パスワード設定(P)...

OK キャンセル

### [言語(L)]

本製品を表示するときの言語を選択します。  
インストール時に選択した言語の設定がデフォルト値になります。  
変更する場合、本製品の再起動が必要になります。  
再起動をすると、「プリンタ設定」と「オプション」以外の画面は初期値で表示されます。

設定項目	日本語、英語、中国語、カスタム
------	-----------------

### [制御コード(C)]

接続するプリンタに設定された制御コードを選択します。  
インストール直後のデフォルト値は、「自動判別」になります。  
プリンタのデフォルト値と同じ設定になっているため、基本的に変更する必要はありません。  
プリンタで設定された制御コードに適さない設定をした場合、正常に動作しなくなります。  
ダウンロードを行う場合は、自動判別に設定してください。

設定項目	自動判別、[ESC] [LF] [NUL]、{ }、手動指定
------	--------------------------------

### [コード 1(1)]

接続するプリンタに設定されたコード 1 を HEX 形式で入力します。  
インストール直後のデフォルト値は、「1B」になります。  
[制御コード] で「手動指定」を設定した場合のみ有効になります。

プリンタで制御コードに「手動指定」を使用している場合、変更してください。

設定範囲	00～FF
------	-------

### [コード 2(2)]

接続するプリンタに設定されたコード 2 を HEX 形式で入力します。  
インストール直後のデフォルト値は、「0A」になります。  
[制御コード] で「手動指定」を設定した場合のみ有効になります。  
プリンタで制御コードに「手動指定」を使用している場合、変更してください。

設定範囲	00～FF
------	-------

### [コード 3(3)]

接続するプリンタに設定されたコード 3 を HEX 形式で入力します。  
インストール直後のデフォルト値は、「00」になります。

〔制御コード〕で「手動指定」を設定した場合のみ有効になります。  
プリンタで制御コードに「手動指定」を使用している場合、変更してください。

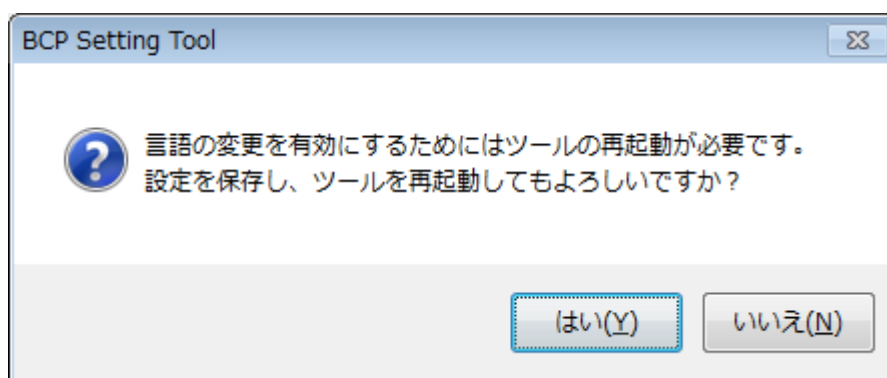
設定範囲	00～FF
------	-------

〔パスワード設定(P)...〕

本製品にログインするためのパスワードを設定します。  
インストール直後はパスワードが設定されていません。  
本製品の使用を制限する場合、パスワードの設定を行なってください。  
クリックすると、〔パスワード変更〕画面が表示されます。  
パスワードが設定されると起動時に〔ログイン〕画面でパスワードが必要になります。  
パスワードは最大 16 桁までの半角英数字が使用できます。  
大文字と小文字の区別はされます。

〔OK〕

クリックすると、画面内の設定を保存して、〔オプション〕画面を終了します。  
〔言語〕を変更した場合のみ、以下の確認メッセージが表示されます。



〔はい〕をクリックすると、設定を保存後、本製品の再起動が実行されます。  
〔いいえ〕をクリックすると、設定を保存しないで、〔オプション〕画面に戻ります。

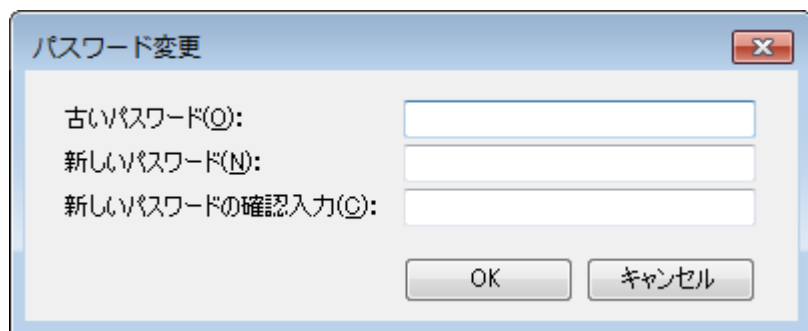
〔キャンセル〕

クリックすると、現在の設定を破棄して、〔オプション〕画面を終了します。  
〔パスワード変更〕画面で保存されたパスワードは破棄されません。



## パスワード変更

---



### [古いパスワード(O)]

既にパスワードが設定されている場合、現在のパスワードを入力してください。  
インストール後に初めて設定するときは、入力する必要はありません。  
入力された文字は隠し文字で表示されます。

### [新しいパスワード(N)]

新しく設定するパスワードを入力してください。  
パスワードの設定を無効にする場合、入力する必要はありません。  
入力された文字は隠し文字で表示されます。

### [新しいパスワードの確認入力(C)]

確認のために新しく設定するパスワードを入力してください。  
パスワードの設定を無効にする場合、入力する必要はありません。  
入力された文字は隠し文字で表示されます。

### [OK]

クリックすると、新しいパスワードを保存して、[パスワード変更] 画面を終了します。  
[オプション] 画面のキャンセルは、パスワードの保存に影響しません。  
[古いパスワード] が間違っている、または、[新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認入力] が一致しない場合、エラーメッセージが表示されます。  
[古いパスワード] のみを入力した場合、パスワードが無効になります。

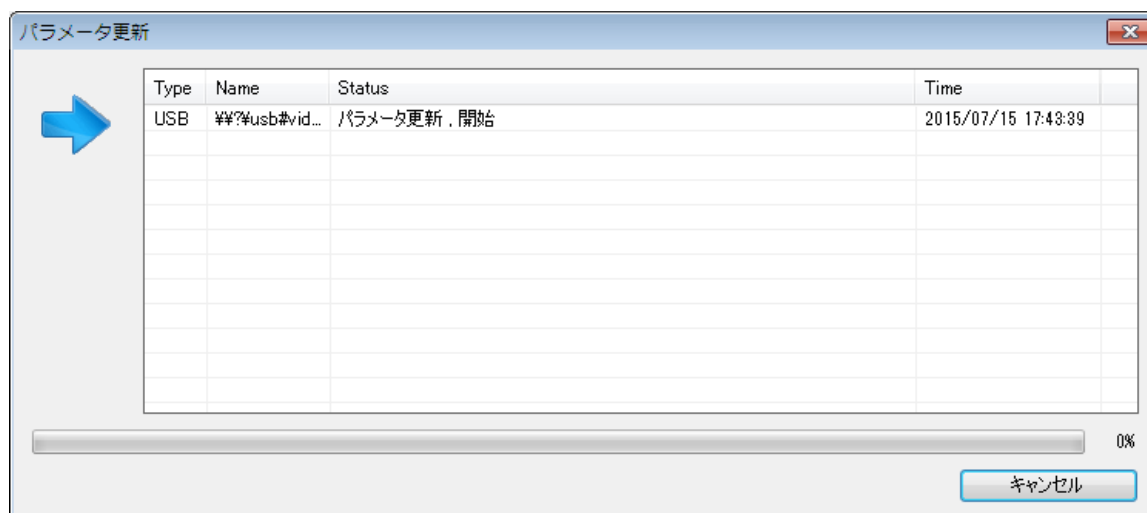
### [キャンセル]

クリックすると、現在の設定を破棄して、[パスワード変更] 画面を終了します。

## 処理画面

プリンタに通信する処理が実行された場合、表示されます。  
処理中は進行画面が表示され、完了時は完了画面が表示されます。

## 進行画面



### タイトル

現在の実行されている処理が表示されます。

### 進行状況

現在の状況がアイコンとテキストとプログレスバーに随時更新されます。

処理中の場合、処理中のアイコンが表示されます。

エラーが発生した場合、処理が中断されます。

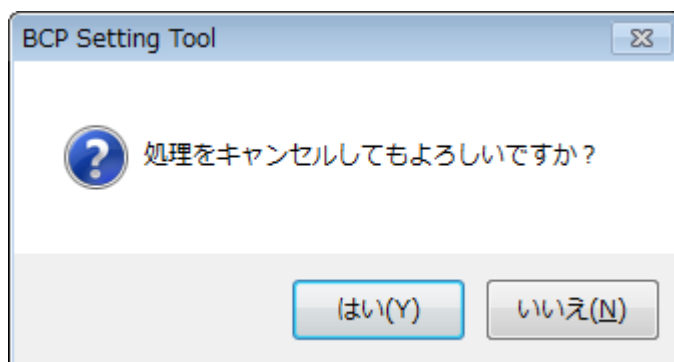
但し、エラーが発生するまでに完了した処理は有効になります。

インターフェースが設定されている場合、各プリンタの状況に関わらず、全てのプリンタに処理を実行します。

### [キャンセル(C)...]

処理を中断します。

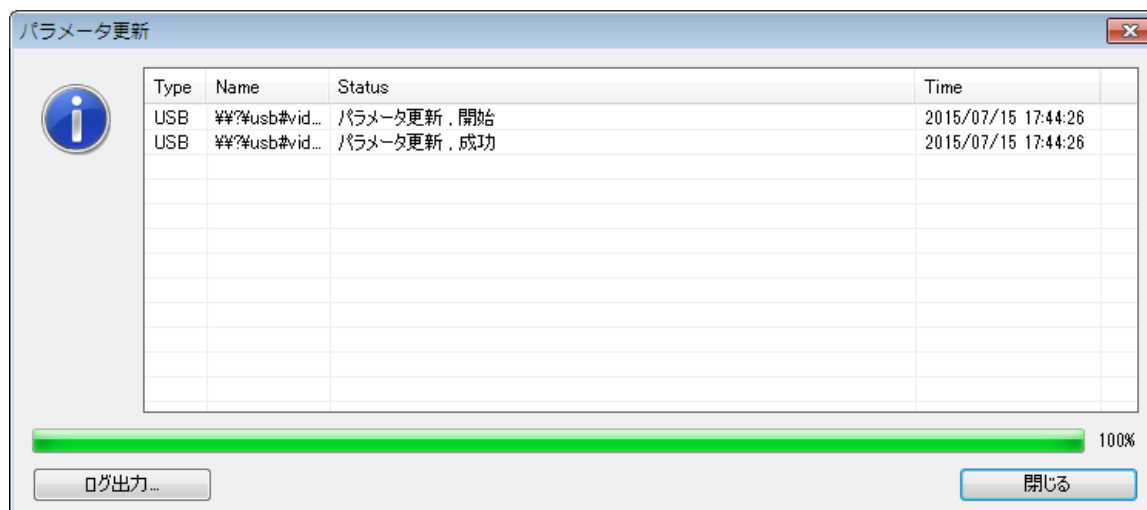
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、中断が実行されます。但し、中断されるまでに完了した処理は有効になります。

「いいえ」をクリックすると、中断をキャンセルします。  
確認メッセージを表示している間も継続して処理されます。

## 完了画面



### タイトル

現在の実行された処理が表示されます。進捗状況画面のタイトル表示がそのまま引き継がれます。

### 進行状況

プログレスバーは 100%になり、最終結果がテキストに表示されます。

正常終了した場合、正常終了のアイコンが表示されます。

エラーにより正常終了しなかった場合、異常終了のアイコンが表示されます。

キャンセルした場合、キャンセル終了のアイコンが表示されます。

### [ログ出力(L)...]

指定したファイルに進捗状況のテキストに表示された結果が CSV 形式で保存されます。

クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。ログデータを保存するファイルを指定して [保存] をクリックすると、保存が実行されます。

指定されたファイルは初期化され、ログデータが保存されます。

指定されたファイルに書き込みができない場合、エラーメッセージが表示されます。

### [リトライ(R)]

正常終了しなかったプリンタに同じ処理を再試行します。

クリックすると、再試行が開始されます。

正常終了しなかった場合のみ表示されます。

### [閉じる(C)]

クリックすると、完了画面を終了します。

## 進行状況

進行状況のテキストの表示で現在の実行中の処理状況が随時追加されます。

進行状況フォーマット：

["デバイス名"] "処理" "プロセス" "詳細状況" ("エラーコード")

### 処理

現在実行されている処理を表示します。

処理	説明
パラメータ取得	[パラメータ設定] 画面でパラメータの設定値の取得を実行
パラメータ更新	[パラメータ設定] 画面でパラメータの設定値の更新を実行
ファームウェアダウンロード	[ダウンロード] 画面の [ファームウェア] タブでダウンロードを実行
BASIC ダウンロード	[ダウンロード] 画面の [BASIC] タブでダウンロードを実行
エミュレーションダウンロード	[ダウンロード] 画面の [エミュレーション] タブでダウンロードを実行
プリンタ情報取得	[メンテナンス] 画面の [情報] タブでプリンタ情報の取得を実行
プリンタ情報保存	[メンテナンス] 画面の [情報] タブでプリンタ情報の保存を実行
プリンタリセット	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでプリンタのリセットを実行
ヘッド断線チェック	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでヘッド断線チェックを実行
ログ採取	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでログ採取を実行
メンテナンスカウンタクリア	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでメンテナンスカウンタのクリアを実行
パラメータクリア	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでパラメータクリアを実行
メモリアロケート	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでアロケートを実行
メモリフォーマット	[メンテナンス] 画面の [設定] タブでフォーマットを実行
ファイル送信	[ツール] 画面の [ツール] タブでファイル送信を実行
テスト印字	[ツール] 画面の [テスト印字] タブでテスト印字を実行

### プロセス

現在実行されているプロセスを表示します。

プロセス	説明
開始	処理を開始
成功	処理が終了
終了	
失敗	処理が異常終了
キャンセル	処理をキャンセル終了
プリンタ準備中...	ダウンロードの準備中
プリンタ更新中...	新しいファームウェアの更新中 各種パラメータに設定された値の更新中
"セクション名"ファームウェア書込み中...	ファームウェアダウンロード処理で ROM ファイルを送信中
メモリアロケート	BASIC ダウンロード処理でメモリをアロケート中
メインプログラム更新中...	BASIC ダウンロード処理でメインプログラムを送信および更新中
システムモードプログラム更新中...	BASIC ダウンロード処理でシステムモードプログラムの送信および更新中
データファイル更新中...	BASIC ダウンロード処理でデータファイルの送信および更新中
非サポート	パラメータ取得／更新でプリンタからの応答がタイムアウトとなった

## 詳細状況

終了した時の詳細状況を表示します。

メッセージ	説明
プリンタの接続が確認できません	指定されたインターフェースで接続可能なプリンタが確認できませんでした。 通信条件を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
オンラインモードを確認できません	プリンタがオンラインモードになっていることを確認できないため、処理を実行できませんでした。 通信条件を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
プリンタがアイドル状態ではありません	プリンタでエラーが発生しているため、処理を実行できませんでした。 プリンタのエラーを解除後、再度操作をやり直してください。
プリンタでエラー（“ステータスコード”）が発生しました	処理中にプリンタでエラーが発生しました。 プリンタのエラーを解除後、再度操作をやり直してください。
ヘッドが断線しています	ヘッド断線チェックを実行した結果、プリンタのヘッドに断線が見つかりました。
ファイルの書き込みに失敗しました	プリンタ情報採取、ログ採取で採取したデータが指定されたファイルに書込めませんでした。 ファイルが書込み可能な状態かを確認してください。
取得エラー（“タブ名”/“グループ名”）	プリンタから設定情報を取得できませんでした。 『“タブ名”/“グループ名”』はエラーが発生した場所を示します。 再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
更新エラー（“タブ名”/“グループ名”/“コントロール名”）	設定情報がプリンタで更新できませんでした。 『“タブ名”/“グループ名”/“設定項目名”』はエラーが発生した場所を示します。 設定値を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。 尚、設定する機能がプリンタファームバージョンにより組み込まれていない場合も“更新エラー”が発生します。
処理エラー	ファームウェアダウンロードでバージョンが更新できませんでした。 メンテナンスカウンタクリアでカウンタがクリアできませんでした。 パラメータクリアで初期化できませんでした。 再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
プリンタの準備ができていません	実行しようとした処理に対応するモードではありません。 各処理に対応したモードは「 <a href="#">3.起動 プリンタ側</a> 」を参照してください。
タイムアウトエラー	プリンタからの受信処理がタイムアウトになりました。 再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。
通信エラー	指定されたインターフェースでの通信処理に異常が発生しました。 通信条件を確認後、再度操作をやり直してください。同じメッセージが出る場合、プリンタを再起動してください。

## 4 機能

### パラメータ設定

プリンタの各種パラメータの設定、取得を行ないます。

「メニューアイコン」の「パラメータ設定」をクリックすると、表示されます。

プリンタが"TPCL"モードの状態で行ってください。



#### コントロール

プリンタの各種パラメータの値を確認、更新するために、種類や用途により、タブとグループに区分けられて配置されます。

それぞれのコントロールは、属しているグループのチェックボックスがチェック有りの場合、アクティブ表示になります。

アクティブ表示のコントロールは、選択や入力により値の変更が可能です。

プリンタからの取得は、全てのコントロールに対して実行されます。

プリンタへの更新は、アクティブ表示のコントロールに対して実行されます。

#### グループ

それぞれのコントロールは、[イメージ]、[通知]、[コマンド]等の種類によってグループ化されます。グループのチェックボックスをチェック有りにすると、グループ内のコントロールがアクティブ表示になります。

プリンタからの取得は、チェックの有無に関係なく全てのコントロールに対して実行されます。

プリンタへの更新は、チェック有りにしたグループのコントロールに対して実行されます。

#### タブ

それぞれのグループは、[一般]、[オプション]、[デバイス]のタブに区分けられます。

タブをクリックすると、それぞれに関連するパラメータを設定する画面が表示されます。

プリンタからの取得は、全てのタブのコントロールに対して一括で実行されます。

プリンタへの更新は、各タブ内の有効になったコントロールに対して実行されます。

[更新...]

プリンタのパラメータの設定値を変更します。

設定値を変更するグループが無い場合、無効になります。

画面の設定が間違っていた場合、エラーメッセージが表示されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがシステムモードの場合に実行されます。

全てのタブのアクティブ表示のコントロールの設定値をプリンタに送信し、プリンタから送信後の値を取得し、更新が成功したかどうかを確認します。

[取得]

プリンタからパラメータの設定値を取得し、表示を更新します。

クリックすると、処理が開始されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがシステムモードの場合に実行されます。

取得した設定値は「パラメータ設定」画面の各コントロールに反映されます。

全てのタブの全てのコントロールに対して現在の設定値をプリンタから取得します。

但し、一部取得できないコントロールがあります。（ボンディング情報）

## 一般タブ

一般

一般 (2)

一般 (3)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

RFID

イメージ

文字コード:

PC-850

“0”字体:

スラッシュ無し

EUROフォントコード:

B0

MaxiCode仕様:

TYPE 1: 互換仕様

漢字特殊コード:

TYPE 1: Windows

制御

FEEDキー:

フィード

自動断線チェック:

無効

拡張I/Oモード:

TTEC仕様

自動用紙測定:

無効

省電力移行時間:

15 分

サブライ

印加制御(熱転写):

標準

印加制御(直接感熱):

標準

リボンニアエンド:

無効

用紙/リボン終了:

即時停止

リボンセーブ:

ポジション1

動作

頭だし:

標準

自動正転待機:

しない

自動正転待機位置:

0.0 mm

待機動作:

MODE 1: 通常

ヘッドアップカット/リワインダ:

しない

バックフィード速度:

標準: 3ips

カットモード:

標準動作

表示

LOD表示言語:

日本語

コントラスト調整:

40

機種名:

表示

印刷枚数:

表示

IPアドレス:

表示

剥離

剥離待ちステータス:

無効

プレ記録処理:

しない

XML

XML:

標準

更新

取得

### 【イメージ】グループ

#### [文字コード]

プリンタフォントに適用する文字コード表を設定します。

デフォルト値	PC-850
設定項目	PC-850、PC-8、PC-852、PC-857、PC-851、PC-855、PC-1250、PC-1251、PC-1252、PC-1253、PC-1254、PC-1257、LATIN9、Arabic、PC-866、UTF-8

#### [“0”字体]

プリンタフォントのキャラクタ“0”にスラッシュを付けるか否かを設定します。

但し、以下のフォントは設定に関係なくスラッシュ無しになります。

<ビットマップフォント> OCR-A、OCR-B、ゴシック 725 ブラック、漢字、中国語

<アウトラインフォント> 価格フォント1、価格フォント2、価格フォント3、Dutch 801、Brush 738、Gothic 725、True Type フォント

デフォルト値	スラッシュ無し
設定項目	スラッシュ無し、スラッシュ有り

#### [EURO フォントコード]

プリンタフォントで EURO フォントに割り当てる文字を HEX 形式で設定します。

入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。(例：“0”→“30”、“A”→“41”)

デフォルト値	B0
設定範囲	20~FF

#### [MaxiCode 仕様]

バーコードフォントの MaxiCode を作成する種別を設定します。

デフォルト値	TYPE 1: 互換仕様
設定項目	TYPE 1: 互換仕様、TYPE 2: 特殊仕様

29



[漢字特殊コード]

漢字フォントのコードの仕様を設定します。

デフォルト値	TYPE 1: Windows
設定項目	TYPE 1: Windows、TYPE 2: オリジナル

【サプライ】グループ

[印加制御（熱転写）]

リボン発行時に使用する熱制御を設定します。

デフォルト値	標準
設定項目	標準、予約 1、予約 2、予約 3、予約 4、予約 5、予約 6、予約 7、予約 8、予約 9

[印加制御（直接感熱）]

感熱発行時に使用する熱制御を設定します。

デフォルト値	標準
設定項目	標準、予約 1、予約 2、予約 3、予約 4、予約 5、予約 6、予約 7、予約 8、予約 9

[リボンニアエンド]

リボンニアエンドを検出する条件を設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、30 m、70 m

[用紙／リボン終了]

用紙、または、リボンの終了検出時の停止動作を設定します。

デフォルト値	即時停止
設定項目	即時停止、印字後停止

[リボンセーブ] [B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi)]

リボンを節約する機能を有効にするか否かを設定します。

ポジション 1 のみ使用可能です。ポジション 2 で更新してもポジション 1 に設定されます。

デフォルト値	ポジション 1
設定項目	しない、ポジション 1、ポジション 2

【表示】グループ

[LCD 表示言語]

LCD に表示するメッセージの言語を設定します。

デフォルト値	日本語
設定項目	英語、ドイツ語、フランス語、オランダ語、スペイン語、日本語、イタリア語、ポルトガル語、中国語（簡体字）、韓国語、トルコ語、ポーランド語、ロシア語、チェコ語

[コントラスト調整]

LCD に表示するときの濃度を偶数値で設定します。

奇数値が設定された場合、偶数値に補正されます。

デフォルト値	40
設定範囲	24～50

[機種名]

LCD に機種名を表示するか否かを設定します。

デフォルト値	表示
設定項目	非表示、表示

[印刷枚数]

LCD に印刷枚数を表示するか否かを設定します。

デフォルト値	表示
設定項目	非表示、表示



[IP アドレス]

LCD に IP アドレスを表示するか否かを設定します。

デフォルト値	表示
設定項目	非表示、表示

【制御】グループ

[FEED キー]

[FEED] キーを押した場合の動作を設定します。

デフォルト値	フィード
設定項目	フィード、再印刷

[自動断線チェック]

電源投入時に自動で断線チェックを行なうか否かを選択します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[拡張 I/O モード]

拡張 I/O の仕様を設定します。

デフォルト値	TTEC 仕様
設定項目	TTEC 仕様、インライン仕様

[自動用紙測定]

オートキャリブレーション動作による用紙の検出を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	B-EX6T1-G/T(203dpi/305dpi) : 無効、透過センサー、反射センサー、両センサー、 透過センサー（バックフィード有り）、反射センサー（バックフィード有り）、 両センサー（バックフィード有り）
	B-EX6T3-G/T(203dpi/305dpi) : 無効、透過センサー、反射センサー、両センサー

[省電力移行時間]

プリンタが未使用時、省電力モードに移行するまでの時間を設定します。

デフォルト値	15 分
設定範囲	1～240 分

【動作】グループ

[頭だし]

頭だし機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	B-EX6T1-G/T(203dpi/305dpi) : 無効、標準、節約、節約（バックフィード有り）
	B-EX6T3-G/T(203dpi/305dpi) : 無効、標準、節約

[自動正転待機]

発行後に自動正転を待機するか否かを設定します。

“有効”に設定した場合、発行後 1 秒以上アイドル状態が続くと自動的に 13.7mm 正転します。

デフォルト値	しない
設定項目	しない、する

[自動正転待機位置]

[自動正転待機] を“有効”に設定した場合の自動的に正転する 13.7mm に対する調整値を 0.1mm単位で設定します。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-5.0～5.0 mm

[待機動作]

[自動正転待機] を“有効”に設定した場合に使用される待機動作を設定します。

デフォルト値	MODE 1: 通常
設定項目	MODE 1: 通常、MODE 2: 特殊動作、MODE 3: RFID 専用

[ヘッドアップカット／リワインダ]

カット発行時にヘッドアップしてカットするか否かを設定します。

また、リワインダを使用するか否かを設定します。

デフォルト値	しない
設定項目	しない、する

[バックフィード速度]

バックフィード動作時の搬送速度を設定します。

デフォルト値	標準: 3ips
設定項目	標準: 3ips、定速: 2ips

[カットモード]

カットモードを設定します。

デフォルト値	標準動作
設定項目	標準動作、従来動作

【剥離】グループ

[剥離待ちステータス]

剥離発行時に剥離待ちステータスを返すか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[プレ剥離処理]

剥離発行時にプレ剥離動作をするか否かを設定します。

デフォルト値	しない
設定項目	しない、する

【XML】グループ

[XML]

XML を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	標準
設定項目	無効、標準、オラクル、SAP、標準（外部メモリ）、オラクル（外部メモリ）、SAP（外部メモリ）

## 一般 (2)タブ

一般

一般 (2)

一般 (3)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

RFID

☐ 位置調整
 フィード量: 0.0 0.0 mm  
 カット又は剥離位置: 0.0 0.0 mm  
 バックフィード量: 0.0 0.0 mm  
 X方向: 0.0 0.0 mm

☐ センサー調整
 反射センサーレッシュOLD切替: コマンド指定  
 反射センサー微調: 1.0 V  
 透過センサーレッシュOLD切替: コマンド指定  
 透過センサー微調: 1.4 V

☐ 濃度調整
 熱転写: 0 0  
 直接感熱: 0 0

☐ リボン調整
 リボントルク: 標準  
 標準トルク(巻き取り側): 0 0  
 標準トルク(送り側): 0 0  
 低トルク(巻き取り側): 0 0  
 低トルク(送り側): 0 0

☐ コマンド
 制御コード: 自動判別  
 コード1: 1B  
 コード2: A  
 コード3: 0

☐ BASIC
 インタプリタ: 無効  
 トレース: 無効

☐ 製品
 プリントリアル番号:   
 SHELL機能: 無効

更新

取得

### 【位置調整】グループ

#### [フィード量]

停止位置に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。  
 マイナス値の場合、ゼロ位置に対して手前で停止します。  
 PC の値が左側のボックスに表示されます。  
 取得をしない場合、印字位置微調コマンド [AX] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-50.0～50.0 mm

#### [カット又は剥離位置]

カット（又は剥離位置）に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。  
 マイナス値の場合、ゼロ位置に対して手前でカット（剥離）します。  
 PC の値が左側のボックスに表示されます。  
 取得をしない場合、印字位置微調コマンド [AX] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-50.0～50.0 mm

#### [バックフィード量]

バックフィード量に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。  
 マイナス値の場合、用紙を戻す方向のフィード量が減ります。  
 PC の値が左側のボックスに表示されます。  
 取得をしない場合、印字位置微調コマンド [AX] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-9.9～9.9 mm

#### [X 方向]

用紙送りと垂直方向の印字位置に対する微調整を 0.1mm 単位で設定します。  
 マイナス値の場合、左上の基点座標がゼロ位置に対して左方向に移動します。

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-99.5～99.5 mm

## 【濃度調整】グループ

### 〔熱転写〕

リボン発行時の印字濃度に対する微調整を設定します。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、印字濃度微調コマンド [AY] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-20～20

### 〔直接感熱〕

感熱発行時の印字濃度に対する微調整を設定します。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、印字濃度微調コマンド [AY] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-20～20

## 【コマンド】グループ

### 〔制御コード〕

コマンドの解析に使用する制御コードを設定します。

デフォルト値	自動判別
設定項目	自動判別、[ESC] [LF] [NUL]、{   }、手動指定

### 〔コード 1〕

〔制御コード〕を“手動指定”に設定した場合、1 バイト目に使用するコードを HEX 形式で設定します。

入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。（例：“0”→“30”、“A”→“41”）

デフォルト値	1B
設定範囲	00～FF

### 〔コード 2〕

〔制御コード〕を“手動指定”に設定した場合、2 バイト目に使用するコードを HEX 形式で設定します。

入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。（例：“0”→“30”、“A”→“41”）

デフォルト値	0A
設定範囲	00～FF

### 〔コード 3〕

〔制御コード〕を“手動指定”に設定した場合、3 バイト目に使用するコードを HEX 形式で設定します。

入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。（例：“0”→“30”、“A”→“41”）

デフォルト値	00
設定範囲	00～FF

## 【BASIC】グループ

### 〔インタプリタ〕

ベーシックインタプリタを使用可能にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

### 〔トレース〕

ベーシックトレースを使用可能にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

## 【製品】グループ

### [プリンタシリアル番号]

プリンタ固有の番号が表示されます。  
この設定は変更できません。

### [SHELL 機能]

SHELL 機能の設定が表示されます。  
この設定は変更できません。

## 【センサー調整】グループ

### [反射センサスレッシュホールド切替]

反射センサのスレッシュホールドの設定方法を設定します。

デフォルト値	コマンド指定
設定項目	手動設定優先、コマンド指定

### [反射センサー微調]

反射センサの出力に対するしきい値の微調整を 0.1V 単位で設定します。

デフォルト値	1.0 V
設定範囲	0.1～4.0 V

### [透過センサスレッシュホールド切替]

透過センサのスレッシュホールドの設定方法を設定します。

デフォルト値	コマンド指定
設定項目	手動設定優先、コマンド指定

### [透過センサー微調]

透過センサの出力に対するしきい値の微調整を 0.1V 単位で設定します。

デフォルト値	1.4 V
設定範囲	0.1～4.0 V

## 【リボン調整】グループ

### [リボントルク]

リボンのトルクを設定します。

デフォルト値	標準
設定項目	標準、低い

### [標準トルク（巻き取り側）]

リボンの巻き取り側のモータ駆動電圧に対する微調整を設定します。

この設定はリボントルクが標準のときに使用されます。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、リボンモータ駆動電圧微調コマンド [RM] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-15～10

### [標準トルク（送り側）]

リボンのバックテンション側のモータ駆動電圧に対する微調整を設定します。

この設定はリボントルクが標準のときに使用されます。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、リボンモータ駆動電圧微調コマンド [RM] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-15～10

[低トルク（巻き取り側）]

リボンの巻き取り側のモータ駆動電圧に対する微調整を設定します。

この設定はリボントルクが低いときに使用されます。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、リボンモータ駆動電圧微調コマンド [RM] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-15～10

[低トルク（送り側）]

リボンのバックテンション側のモータ駆動電圧に対する微調整を設定します。

この設定はリボントルクが低いときに使用されます。

PC の値が左側のボックスに表示されます。

取得をしない場合、リボンモータ駆動電圧微調コマンド [RM] で設定した PC の値は 0 になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-15～10



## 一般 (3)タブ

一般 一般 (2) 一般 (3) デバイス LAN 無線LAN 無線LAN(2) RFID

☐ RTC設定

日付・時刻: 2021年12月 2日 13:58:08

バッテリーチェック: 無効

印刷時の書き換え: バッチ毎

☐ パスワード

システムモードパスワード: 無効

新パスワード: 0000

旧パスワード: 0000

更新 取得

### 【RTC 設定】グループ

#### 〔日付・時刻〕

RTC モジュールの現在の日付・時刻が表示されます。

この設定は変更できません。

#### 〔バッテリーチェック〕

バッテリーのチェックを有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

#### 〔印刷時の書き換え〕

発行時に日付・時刻を書き換えるタイミングを設定します。

デフォルト値	バッチ毎
設定項目	バッチ毎、ページ毎

### 【パスワード】グループ

#### 〔システムモードパスワード〕

システムモードに入るときのパスワードを有効にするか否かを選択します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

#### [新パスワード]

システムモードに入るときのパスワードを設定します。

設定する場合には旧パスワードが必要です。

旧パスワードの指定が間違っている場合、変更できません。

システムモードパスワードが有効の場合のみ、有効になります。

入力は4文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	0000
設定範囲	0000～FFFF

#### [旧パスワード]

システムモードに入るときのパスワードを解除するために設定します。

現在プリンタに設定されたパスワードを設定します。

入力は4文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

新パスワードを有効にする場合、“0000”を設定してください。

デフォルト値	0000
設定範囲	0000～FFFF

## デバイスタブ

The screenshot shows a configuration window with several tabs: 一般 (General), 一般 (2) (General (2)), デバイス (Device), LAN, 無線LAN (Wireless LAN), 無線LAN(2) (Wireless LAN (2)), and RFID. The 'デバイス' (Device) tab is selected. Under the 'RS-232C' section, the following settings are shown:

- 通信速度 (Communication Speed): 9600 bps
- データ長 (Data Length): 8 bits
- パリティ (Parity): 偶数 (Even)
- ストップビット (Stop Bits): 1 bit
- フロー制御 (Flow Control): XON+READY AUTO

Below this, the 'セントロ' (Centronics) section shows:

- ACK/BUSY: 立ち上がりエッジ (Rising Edge)
- セントロリセット (Centronics Reset): 有効 (Valid)
- プラグ&プレイ (Plug & Play): 無効 (Invalid)

The 'USB' section shows:

- USBシリアル番号 (USB Serial Number): 無効 (Invalid)
- 自動ステータス応答 (Automatic Status Response): 無効 (Invalid)

### 【RS-232C】グループ

#### [ボーレート]

RS-232C 通信で使用するデータ転送速度を設定します。

デフォルト値	9600 bps
設定項目	2400 bps、4800bps、9600 bps、19200 bps、38400 bps、115200 bps

#### [データ長]

RS-232C 通信で使用するデータ長を設定します。

デフォルト値	8 bits
設定項目	7 bits、8 bits

#### [パリティ]

RS-232C 通信で使用するエラーチェックを設定します。

デフォルト値	偶数
設定項目	無し、偶数、奇数

#### [ストップビット]

RS-232C 通信で使用するストップビット長を設定します。

デフォルト値	1 bit
設定項目	1 bit、2 bits

#### [フロー制御]

RS-232C 通信で使用するデータフロー制御を設定します。

デフォルト値	XON+READY AUTO
設定項目	XON+READY AUTO、XON/XOFF AUTO、READY/BUSY RTS、XON+XOFF、READY/BUSY

## 【セントロ】グループ

### [ACK/BUSY]

セントロニクス通信の ACK 信号と BUSY 信号の動作を選択します。

デフォルト値	立ち上がりエッジ
設定項目	立ち上がりエッジ、立ち下りエッジ

### [セントロリセット]

セントロニクス通信の nlnit 信号でリセットするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

### [プラグ&プレイ]

セントロニクス通信でプラグアンドプレイを有効にするか否かを設定します。

USB 通信のプラグアンドプレイを無効にすることはできません。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

## 【USB】グループ

### [USB シリアル番号]

USB のシリアル番号を有効にするか否かを設定します。

無効にした場合、USB ポートに対して接続が確立されます。

USB ポートを変えるたびにプリンタドライバのインストールが発生します。

有効にした場合、表示されたシリアル番号に対して接続が確立されます。

シリアル番号ごとにプリンタドライバのインストールが発生します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

シリアル番号にはプリンタ固有の番号が表示されます。

この設定は変更できません。

### [自動ステータス応答]

USB 通信で自動ステータス応答を返信する機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

## LANタブ

一般

一般 (2)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN(2)

RFID

TCP/IP

LAN I/F:

有効(自動)

IPアドレス:

192 . 168 . 10 . 20

サブネットマスク:

255 . 255 . 255 . 0

デフォルトゲートウェイ:

0 . 0 . 0 . 0

SNMP Trap

[1]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[2]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[3]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[4]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[5]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[6]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[7]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[8]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[9]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

[10]:

無効

0 . 0 . 0 . 0

プロトコル

LPR:

有効

ソケット:

有効

ポート番号:

9100

WEBプリンタ:

無効

Keep Alive:

無効

SNMP:

有効

サーバー

DHCP:

有効

DHCPホスト名:

入力形式:

HEX

DHCPクライアントID:

WINS:

無効

WINSサーバーアドレス:

0 . 0 . 0 . 0

### 【TCP/IP】グループ

#### [LAN I/F]

有線 LAN または無線 LAN での通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効（自動）
設定項目	無効、有効（自動）、有効（有線 LAN）、有効（無線 LAN）

#### [IP アドレス]

IP アドレスを設定します。

デフォルト値	192.168.10.20
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

#### [サブネットマスク]

サブネットマスクを設定します。

デフォルト値	255.255.255.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

#### [デフォルトゲートウェイ]

デフォルトゲートウェイのアドレスを設定します。

デフォルト値	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

### 【プロトコル】グループ

#### [LPR]

LPR プロトコルでの通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

#### [ソケット]

ソケット通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

42

[ポート番号]

ソケット通信で使用するポート番号を設定します。

デフォルト値	9100
設定範囲	0～65535

[WEB プリンタ]

WEB プリンタ機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効、有効（外部メモリ）

[Keep Alive]

Keep Alive 機能を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[SNMP]

SNMP 通信を有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

【SNMP Trap】グループ

[1] [2] [3] [4] [5] [6] [7] [8] [9] [10]

SNMP トラップを有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、エラー時、ジョブ終了時、エラー時&ジョブ終了時

有効にした場合、SNMP トラップを監視する端末の IP アドレスを設定します。

「無効」以外が設定された場合、IP アドレスの入力が有効となります。

「無効」に設定すると、IP アドレスはデフォルト値に戻ります。

デフォルト値	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

【サーバー】グループ

[DHCP]

DHCP クライアントを有効にするか否かを設定します。

デフォルト値	有効
設定項目	無効、有効

[DHCP ホスト名]

ホスト名を設定します。

未入力にした場合、プリンタの MAC アドレスを使用します。

入力は最大 32 文字までの半角英数字と ' - ' (ハイフン) と ' . ' (ピリオド)で行なってください。

[DHCP クライアント ID]

DHCP クライアント ID を設定します。

入力形式が HEX の場合、入力は最大 128 文字までの“0”から“F”の半角文字で行なってください。

入力は 2 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

2 文字で 1 文字の HEX を表します。（例：“0”→“30”、“A”→“41”）

文字数が奇数の場合、エラーになります。

入力形式が ASCII の場合、入力は最大 64 文字までの半角英数字で行なってください。

[入力形式]

DHCP クライアント ID を入力するときのコードを設定します。

変更した場合、DHCP クライアント ID はクリアされます。

デフォルト値	HEX
設定項目	HEX、ASCII

[WINS]

WINS プロトコルを有効にするか否かを設定します。

“有効（手動）”に設定した場合、“WINS サーバーアドレス”を使用します。

“有効（DHCP）”に設定した場合、DHCP の設定を使用します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効（手動）、有効（DHCP）

[WINS サーバーアドレス]

WINS サーバーの IP アドレスを設定します。

デフォルト値	0.0.0.0
設定範囲	0.0.0.0～255.255.255.255

## 無線LANタブ

The screenshot shows a configuration window for a wireless LAN interface. The 'Wireless LAN' tab is active. Under 'Wireless LAN Details', the ESS ID is 'TOSHIBATEC', Beacon Interval is 1000 ms, and other settings like roaming thresholds and legal designations are visible. The '802.11b/g/n' section shows Channel 1 and WEP settings.

### 【無線 LAN 詳細】グループ

#### [ESS ID]

ESS ID を設定します。

入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なってください。

デフォルト値	TOSHIBATEC
--------	------------

#### [ビーコン送信間隔]

ビーコンへの送信間隔を設定します。

デフォルト値	100 ミリ秒
設定範囲	50～1500 ミリ秒

#### [ローミング閾値（下限）]

ローミングの感度のしきい値（下限）を設定します。

デフォルト値	89
設定範囲	0～99

#### [ローミング閾値（上限）]

ローミングの感度のしきい値（上限）を設定します。

デフォルト値	60
設定範囲	0～99

#### [法令指定]

設定された法令指定が表示されます。

この設定は変更できません。

### 【802.11b/g/n】グループ

#### [チャンネル]

IEEE802.11b/g/n のチャンネルを設定します。

但し、法令指定の設定により使用できないチャンネルはプリンタで補正されます。

デフォルト値	1
設定範囲	1～14



## 【認証】グループ

### [(1) 接続モード]

接続モードを設定します。

デフォルト値	Infrastructure
設定項目	AP Mode、Infrastructure

### [(2) 暗号化]

暗号化方式を選択します。

“(1) 接続モード”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、WEP40

### [(3) ネットワーク認証]

ネットワーク認証方式を選択します。

“(1) 接続モード”と“(2) 暗号化”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	Open System
設定項目	Open System、Shared Key、WPA-Personal、WPA2-Personal、WPA-Enterprise、WPA2-Enterprise

### [(4) EAP 種別]

EAP の種類を選択します。

“(1) 接続モード”と“(2) 暗号化”と“(3) ネットワーク認証”の設定によって使用可能な項目のみ表示します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、EAP-TLS、EAP-TTLS、EAP-FAST MSCHAPV2、EAP-FAST GTC、PEAP MSCHAPV2、PEAP MSCHAPV2(w/o Cert)、PEAP GTC、PEAP GTC(w/o Cert)

### <認証方式設定表>

(1) 接続モード	(2) 暗号化	(3) ネットワーク認証	(4) EAP 種別
AP Mode	無効	Open System	無効
	WEP40	Open System	無効
	WEP40	Shared Key	無効
	無効	WPA-PERSONAL	無効
	無効	WPA2-PERSONAL	無効
Infrastructure	無効	Open System	無効
	WEP40	Open System	無効
	WEP40	Shared Key	無効
	無効	WPA-Personal	無効
	無効	WPA2-Personal	無効
	無効	WPA-Enterprise	EAP-TLS
			EAP-TTLS
			EAP-FAST MSCHAPV2
			EAP-FAST GTC
			PEAP MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2 (w/o Cert.)
			PEAP GTC
			PEAP GTC (w/o Cert.)
	無効	WPA2-Enterprise	EAP-TLS
			EAP-TTLS
			EAP-FAST MSCHAPV2
			EAP-FAST GTC
			PEAP MSCHAPV2
			PEAP MSCHAPV2 (w/o Cert.)
			PEAP GTC
			PEAP GTC (w/o Cert.)

## 【WEP】グループ

### [キーインデックス]

使用する WEP キーのインデックスを設定します。

デフォルト値	1
設定範囲	1～4

### [入力形式]

WEP キーを入力するときのコードを設定します。

変更した場合、WEP キーはクリアされます。

デフォルト値	HEX
設定項目	HEX、ASCII

### [WEP キー]

認証方式の暗号化で使用する WEP キーを設定します。

WEP キーサイズを選択し、WEP キーを入力します。

WEP キーサイズを変更した場合、WEP キーはクリアされます。

#### <40 bits>

入力形式が HEX の場合、入力は 10 文字固定の“0”から“F”の半角文字で行なってください。

大文字と小文字の区別はありません。

入力形式が ASCII の場合、入力は 5 文字固定の半角英数字で行なってください。

セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、40 bits (64 bits)

## 無線LAN (2)タブ

無線LAN (2)タブのスクリーンショット。タブは「無線LAN (2)」に設定されています。設定項目は以下の通りです。

- ☐ WPA-PSK
  - 事前共有キー: 00000000
- ☐ アカウント
  - 認証ユーザー名:
  - 認証パスワード:
- ☐ サプリカント
  - サーバー証明書: [Browse]
  - クライアント証明書: [Browse]
  - キーファイル: [Browse]

### 【WPA-PSK】グループ

#### 〔事前共有キー〕

ネットワーク認証の WPA の暗号化で使用するキーを設定します。  
入力は 8 文字から 64 文字までの半角英数字で行なってください。  
セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

デフォルト値	00000000
--------	----------

### 【アカウント】グループ

#### 〔認証ユーザ名〕

サプリカントの認証を行なうためのユーザ名を設定します。  
入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なって下さい。

#### 〔認証パスワード〕

サプリカントの認証を行なうためのパスワードを設定します。  
入力は最大 32 文字までの半角英数字で行なって下さい。  
セキュリティ情報であるため、入力時以外は隠し文字で表示されます。

### 【サプリカント】グループ

#### 〔サーバー証明書〕

送信するサーバー証明書ファイルを絶対パスで設定します。

... ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

#### [クライアント証明書]

送信するクライアント証明書ファイルを絶対パスで設定します。



ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

#### [キーファイル]

送信するクライアント証明書のキーファイルを絶対パスで設定します。



ボタンからファイルの選択画面での設定が行なえます。

未設定の場合、データの送信を実行しません。

データがない空白ファイルを設定した場合、現在の設定を無効にできます。

存在しないファイルを設定した場合、エラーになります。

# RFIDタブ

一般

一般 (2)

デバイス

LAN

無線LAN

無線LAN (2)

RFID

☐ モジュール

モジュールタイプ:

NONE

タグタイプ:

NONE

使用国:

☐ UHF設定

出力レベル:

251

0値:

0

タグ性能判定:

0

書き込み性能しきい値:

0

書き込み性能下限:

0

チャンネル:

自動

マルチワード書き込み:

無効

測定モード:

無効

測定AGC値:

0

測定位置:

0.0

mm

アンテナ位置:

フロント

☐ リトライ

再発行時の位置調整:

0

mm

再発行リトライ枚数:

3

枚

読取りリトライ回数:

5

回

読取りリトライ時間:

4.0

秒

書き込みリトライ回数:

5

回

書き込みリトライ時間:

2.0

秒

## 【モジュール】グループ

### [モジュールタイプ]

プリンタに取付けられた RFID モジュールのタイプを設定します。

デフォルト値	NONE
設定項目	NONE、HF Band(H1)、HF Band(H2)、UHF Band(U2/U4)

### [タグタイプ]

RFID タグのタイプを設定します。[モジュールタイプ] により設定項目が変わります。

デフォルト値	NONE
設定項目	NONE : NONE、I-Code、Tag-It、C220、IOS15693、C210、C240、C320、EPC C1 Gen2
	HF Band(H1) : NONE、I-Code、Tag-It、C220、IOS15693、C210、C240、C320
	HF Band(H2) : NONE、IOS15693
	UHF Band(U2/U4) : NONE、EPC C1 Gen2

### [使用国]

設定された使用国を表示します。  
この設定は変更できません。  
取得／表示される使用国は正確でない場合があります。  
将来ファームウェアでの対応予定です。

## 【UHF 設定】グループ

### [出力レベル]

UHF 帯の無線出力レベルを設定します。

デフォルト値	251
設定範囲	0～255

※ 0～18 で設定してください。

[Q 値]

RFID タグを検出する感度を設定します。

デフォルト値	0
設定範囲	0～15

[タグ性能判定]

RFID タグへの書込みエラーの判定基準となる AGC スレッシュホールド値を設定します。

デフォルト値	0
設定範囲	0～15

[書込み性能しきい値]

RFID タグへの書込みを実行する判定基準となるしきい値を設定します。

デフォルト値	0
設定範囲	0～15

[書込み性能下限]

RFID タグへの書込みのリトライを実行する判定基準となる下限値を設定します。

デフォルト値	0
設定範囲	0～15

[チャンネル]

RFID の書込みに使用するチャンネルを設定します。

デフォルト値	自動
設定項目	自動、2 CH、3 CH、4 CH、5 CH、6 CH、7 CH、8 CH

[マルチワード書込み]

Gen2 互換の響チップで、データの書込み時間を短縮するための機能を使用するか否かを設定選択します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[測定モード]

RFID キャリブレーションモードを設定します。

デフォルト値	無効
設定項目	無効、有効

[測定 AGC 値]

RFID 書込み／読み取り発行動作時の、最適書込み／読み取り位置での AGC 値を設定します。

デフォルト値	0
設定項目	0～15

[測定位置]

RFID 書込み／読み取り発行動作時の、ホームポジションからの最適書込み／読み取り位置を設定します。

デフォルト値	0.0 mm
設定項目	-999.9～999.9 mm

[アンテナ位置]

装着されている RF アンテナ位置を設定します。

RFID キャリブレーション動作時に使用されます。

デフォルト値	フロント
設定項目	フロント、センター、リア

## 【リトライ】グループ

### 〔再発行時の位置調整〕

再発行で書込みをリトライするときに正転／逆転フィードする量を設定します。

デフォルト値	0 mm
設定範囲	-99～99 mm

### 〔再発行リトライ枚数〕

再発行でリトライする枚数を設定します。

デフォルト値	3 枚
設定範囲	0～255 枚

### 〔読取りリトライ回数〕

読取りをリトライする回数を設定します。

デフォルト値	5 回
設定範囲	0～255 回

### 〔読取りリトライ時間〕

読取りをリトライする時間を設定します。

デフォルト値	4.0 秒
設定範囲	0.0～9.9 秒

### 〔書込みリトライ回数〕

書込みをリトライする回数を設定します。

デフォルト値	5 回
設定範囲	0～255 回

### 〔書込みリトライ時間〕

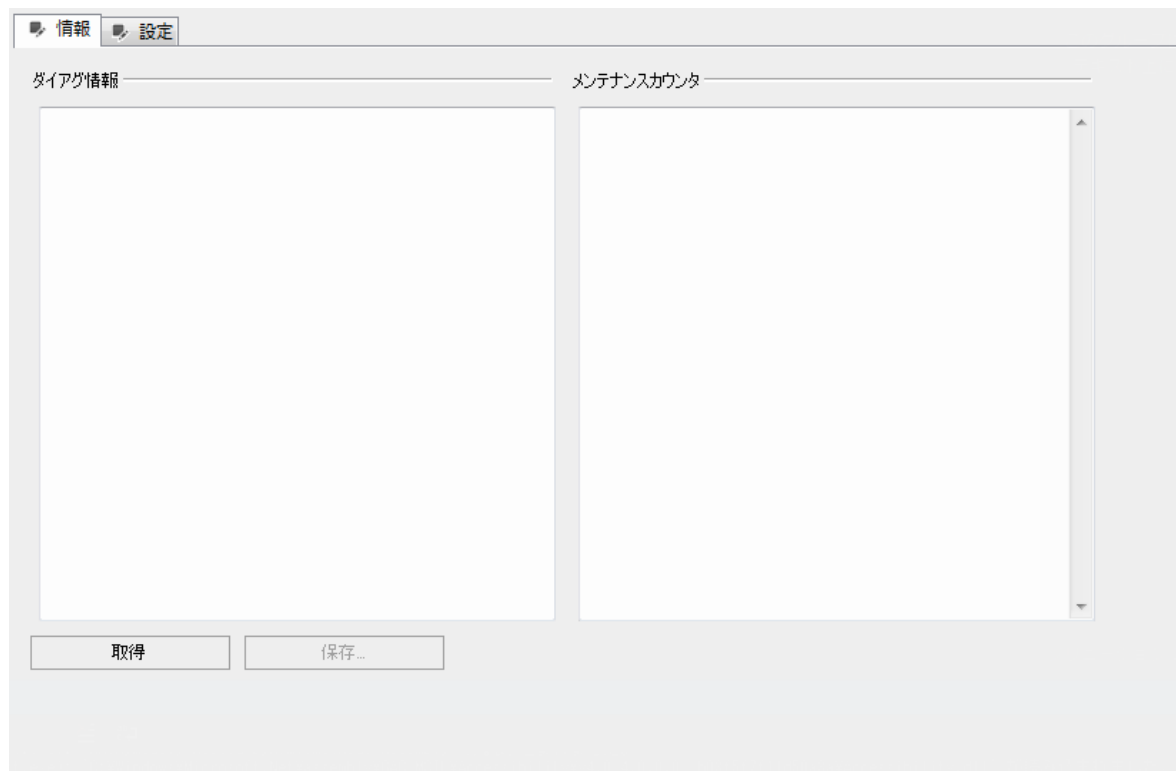
書込みリトライ時間を設定します。

デフォルト値	2.0 秒
設定範囲	0.0～9.9 秒

# メンテナンス

プリンタの自己診断やメモリ管理等でメンテナンスを行ないます。  
「メニューアイコン」の「メンテナンス」アイコンをクリックすると、表示されます。  
プリンタが"TPCL"モードの状態で行ってください。

## 情報タブ



### [ダイアグ情報]

プリンタのファームウェアの情報が表示されます。  
取得を実行すると表示が最新の情報に更新されます。

### [メンテナンスカウンタ情報]

プリンタのメンテナンスカウンタの情報が表示されます。  
取得を実行すると表示が最新の情報に更新されます。

### [取得]

プリンタから現在のプリンタ情報を取得し、ダイアグ情報、メンテナンスカウンタの表示を更新します。  
クリックすると、処理が開始されます。  
処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。  
プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

### [保存]

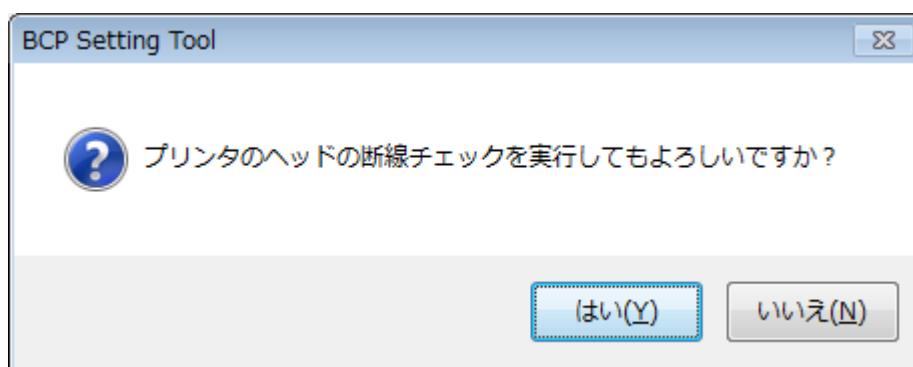
取得したダイアグ情報とメンテナンスカウンタの内容をひとつのファイルに保存します。  
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して「保存」をクリックすると、ファイルに保存されます。  
プリンタから情報取得に成功するとボタンが有効になります。



## 設定タブ

### [ヘッド断線チェック...]

プリンタのヘッドの断線チェックを実行します。  
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、処理が始まります。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

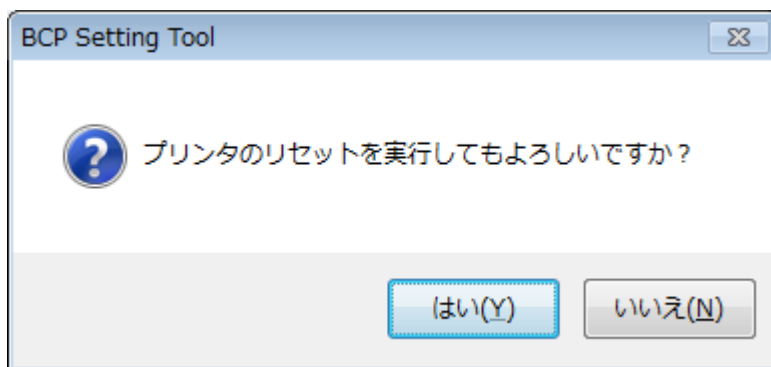
プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

断線チェック完了後、ヘッドが断線しているプリンタはエラーになります。[プリンタリセット]でアイドル状態に戻せます。

### [プリンタリセット...]

プリンタのリセットを実行します。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、処理が開始されます。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタの状態に関係なく実行されます。

プリンタの状態によってリセットが効かないことがあります。

#### 【ログ採取...】

プリンタからログ情報を取得し、ファイルに保存します。

クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して「保存」をクリックすると、処理が開始されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

ログは弊社がプリンタ異常の原因を調査するためのものです。

※ ログ採取は、接続インターフェースを“USB”または“LAN”に設定して実行してください。

#### 【メモリアロケート】

内蔵メモリを各領域に指定したサイズで割当てされます。

各領域の合計が内蔵メモリの総容量になるように指定してください。

指定した容量とプリンタの内蔵メモリの容量が合わない場合、プリンタで自動調整されます。

優先順位： True Type フォント>ビットマップ外字域>BASIC ファイル>PC セーブ

##### 【True Type フォント登録領域】

True Type フォントを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	0 KB
設定項目	0~3072 KB (128 KB 単位)

##### 【ビットマップ外字登録領域】

ビットマップ外字を保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	1792 KB
設定項目	0~3072 KB (128 KB 単位)

##### 【BASIC 領域を保持する】

BASIC ファイル登録領域を保持するかをチェック有／無により設定します。

チェック有りの場合：BASIC ファイルの登録領域はアロケートされずに既存のデータが保持されます（デフォルト）。

チェック無しの場合：「BASIC ファイル登録領域」が選択可能となり、選択したサイズでアロケートされます。

##### 【BASIC ファイル登録領域】

BASIC プログラムを保存する領域のサイズを選択します。

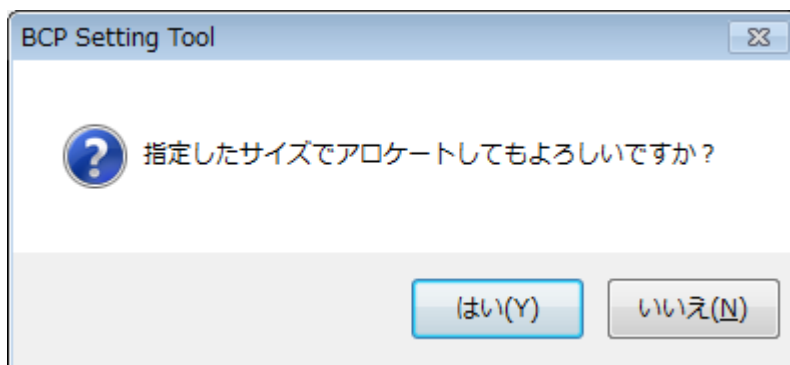
デフォルト値	0 KB
設定項目	0~3072 KB (128 KB 単位)

[PC セーブ登録領域]

PC セーブのデータを保存する領域のサイズが表示されます。  
他の領域に割当てたメモリの残りの容量が割当てられます。  
マイナス値にならないように他の領域を調整してください。  
[BASIC 領域を保持する] がチェック有りの場合は、表示されません。

[アロケート...]

各領域を指定されたサイズにアロケートします。  
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。  
プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。  
アロケートコマンドをプリンタに送信後、メモリのアロケートが完了するまで待機します。  
アロケートされるサイズに変更が無い場合も既存のデータは削除されます。

【メモリフォーマット】

指定したメモリの既存のデータが削除されます。

[場所]

フォーマットを実行するメモリを選択します。

デフォルト値	内蔵メモリ
設定項目	内蔵メモリ、USB メモリ

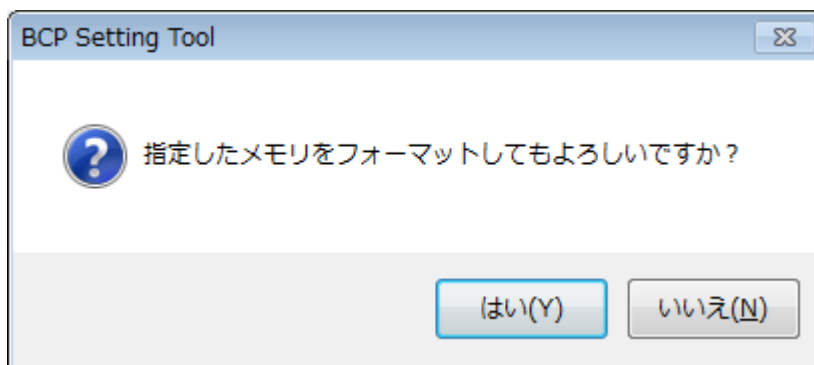
[範囲]

フォーマットを実行する範囲を選択します。

デフォルト値	PC セーブ & ビットマップ外字
設定項目	PC セーブ & ビットマップ外字、PC セーブ、ビットマップ外字

#### [フォーマット...]

指定したメモリの指定した範囲をフォーマットします。  
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。  
プリンタがオンライン TPCL モードまたは TPCL1 モードで状態がアイドルの場合に実行されます。  
フォーマットコマンドをプリンタに送信後、メモリのフォーマットが完了するまで待機します。

#### 【メンテナンスカウンタクリア】

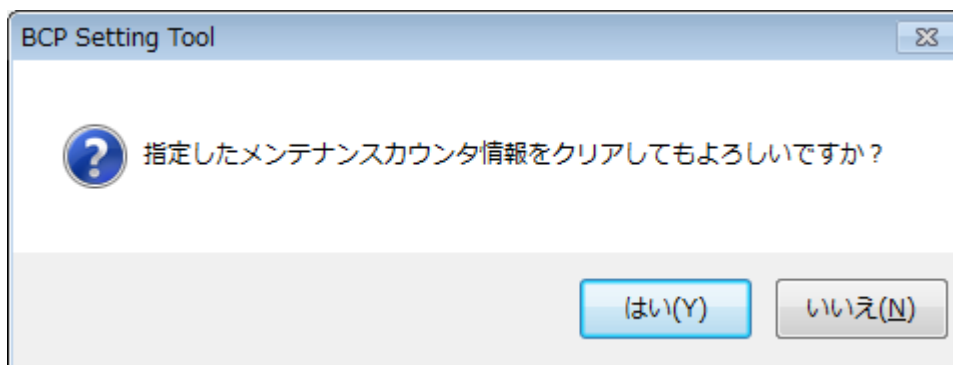
メンテナンスカウンタ情報をクリアする項目を選択します。

デフォルト値	全カウンタ
設定項目	全カウンタ、ラベル走行距離 (FEED)、印字距離 (PRINT)、カット回数 (CUT)、その他 (FEED, PRINT, CUT 以外)

#### [クリア...]

選択したメンテナンスカウンタの情報が 0 にクリアされます。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

完了後にメンテナンスカウンタ情報の表示が更新されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

#### 【パラメータクリア】

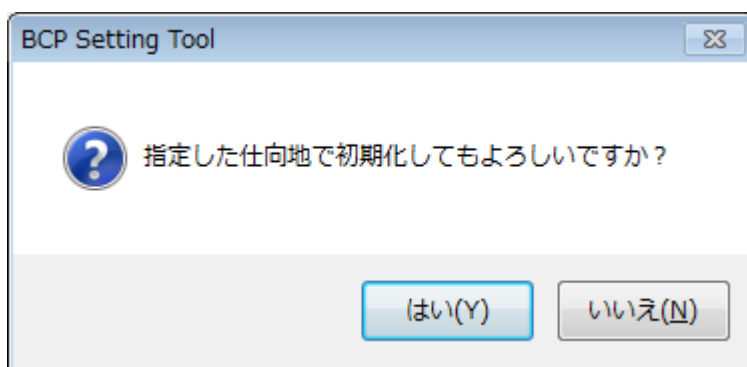
##### [仕向地]

パラメータクリアを実行した後に使用する仕向地を選択します。

デフォルト値	JA
設定項目	QM、JA、CN

[初期化...]

選択した仕向地でプリンタの RAM がクリアされます。  
クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



〔はい〕 をクリックすると、処理が開始されます。

〔いいえ〕 をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。  
完了後にパラメータ情報の表示が更新されます。  
プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

# ダウンロード

プリンタにファームウェアのダウンロードを行ないます。  
「メニューアイコン」の「ダウンロード」アイコンをクリックすると、表示されます。  
プリンタが"TPCL"モードの状態で行ってください。

## ファームウェアダウンロードタブ



ファイル名	セクション	バージョン	モデル	アドレス	サイズ	日付
-------	-------	-------	-----	------	-----	----

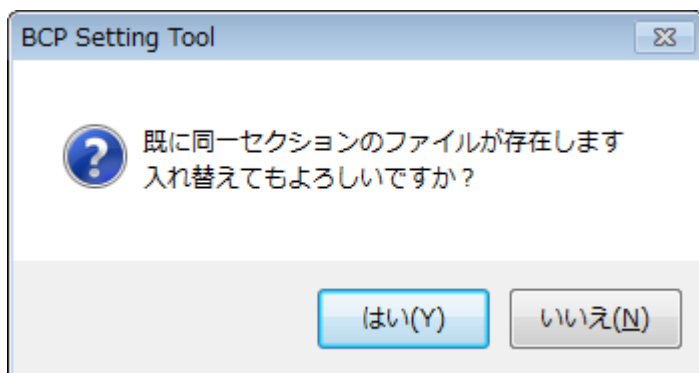
ファームウェアをダウンロードする場合、途中で電源が切れることが無い環境で実行してください。  
ファームウェアの更新中にプリンタの電源が切れた場合、プリンタが起動しなくなる場合があります。  
プリンタが正常に起動する場合、再度ダウンロードを行なってください。プリンタが起動しない場合、弊社営業にお問合せください。

### [ROM リスト]

プリンタにダウンロードするファームウェアの ROM ファイルが表示されます。  
デフォルト値は、「空リスト」になります。  
リストはROM ファイルを追加した順番に関係なく、セクション項目で整列されます。整列順はセクション項目が BOOT、MAIN、C/G、XML、HTML、KANJI、CHINESE、WLAN FW の順になります。  
ダウンロードはリストの上から順番に実行されます。  
ROM ファイルを選択すると、リストの下にファームウェアの情報が表示されます。

### [追加...]

指定した ROM ファイルを [ROM リスト] に追加します。  
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。ROM ファイルを指定して [開く] をクリックすると、[ROM リスト] に追加されます。  
指定されたファイルが ROM 形式でない、または、[プリンタ設定] の [プリンタ] と機種が異なる場合、エラーメッセージが表示されます。  
最大 4 つの ROM ファイルまで追加可能です。  
同じセクションのファイルは 1 つしか追加できません。既に存在するセクションと同一のファイルを選択すると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、ファイルが入れ替わります。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

#### [削除]

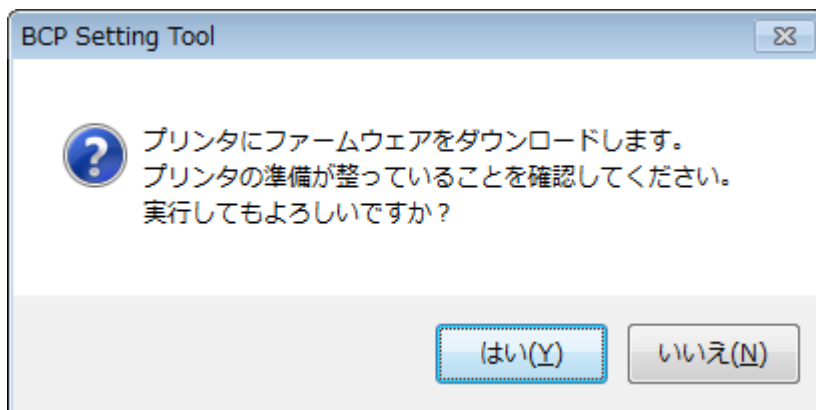
クリックすると、「ROM リスト」で選択した ROM ファイルが削除されます。

「ROM リスト」で ROM ファイルを選択した場合、有効になります。

#### [ダウンロード開始...]

「ROM リスト」の ROM ファイルをプリンタにダウンロードします。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



「はい」をクリックすると、処理が開始されます。

「いいえ」をクリックすると、中止します。

ROM ファイルの読み込みに失敗、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

「ROM リスト」が設定されていない場合、無効になります。

ROM ファイルをプリンタに送信後、プリンタの更新が完了するまで待機します。MAIN と BOOT プログラムの場合、完了時にファームウェアの情報が更新されたことを確認します。

複数のファイルがダウンロードされる場合、1つのファイルの処理が繰り返されます。

※ ファームウェアのダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定ともに、“自動”に設定して行ってください。

※ 複数ファイルを選択しダウンロードする場合、「自動断線チェック」と「自動用紙測定」の設定を”無効”にして実施ください。

## BASICダウンロードタブ

ファームウェア

BASIC

エミュレーション

HTML/XML ROM作成

☐ メモリアロケート

True Type Font 登録領域: 0 KB (0 Block)

ビットマップ外字登録領域: 1792 KB (14 Block)

☒ BASIC領域を保持する

BASICファイル登録領域:

PCセーブ登録領域:

	タイプ	開始ブロック	使用ブロック	ファイル名	追加	クリア
▶	メインプログラム	0			追加	クリア
	システムモードプログラム	1			追加	クリア
	データファイル	2			追加	クリア

ダウンロード開始...

BASIC プログラムをダウンロードする場合、途中で電源が切れることが無い環境で実行してください。  
ダウンロード中にプリンタの電源が切れた場合、再度ダウンロードを行なってください。

### 【メモリアロケート】

プリンタの内蔵メモリをアロケートするか否かを指定します。  
チェックボックスのデフォルト値は、「チェック無し」になります。  
チェック有りの場合、登録領域の設定が有効になります。  
ダウンロードを実行した場合、内蔵メモリを各領域に指定したサイズで割当てされます。  
各領域の合計が内蔵メモリの総容量になるように指定してください。  
指定した容量とプリンタの内蔵メモリの容量が合わない場合、プリンタで自動調整されます。

優先順位： True Type フォント>ビットマップ外字>BASIC ファイル>PC セーブ

#### [True Type フォント登録領域]

True Type フォントを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	0 KB
設定項目	0～3072 KB (128 KB 単位)

#### [ビットマップ外字登録領域]

ビットマップ外字を保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	1792 KB
設定項目	0～3072 KB (128 KB 単位)

#### [BASIC 領域を保持する]

BASIC ファイル登録領域を保持するかをチェック有／無により設定します。

チェック有りの場合：BASIC ファイルの登録領域はアロケートされずに既存のデータが保持されます（デフォルト）。

チェック無しの場合：[BASIC ファイル登録領域] が選択可能となり、選択したサイズでアロケートされます。



#### [BASIC ファイル登録領域]

BASIC プログラムを保存する領域のサイズを選択します。

512KB（4 ブロック）以上を指定してください。

デフォルト値	512 KB
設定項目	0～3072 KB（128 KB 単位）

#### [PC セーブ登録領域]

PC セーブのデータを保存する領域のサイズが表示されます。

他の領域に割当てたメモリの残りの容量が割当てられます。

マイナス値にならないように他の領域を調整してください。

[BASIC 領域を保持する] がチェック有りの場合は、表示されません。

#### [BASIC メインプログラム]

BASIC のメインプログラムを指定します。

指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

##### 開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。

他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	0
設定範囲	0～23

##### プログラムファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC メインプログラムを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

ファイルが指定されていない場合、[BASIC メインプログラム] は有効な設定になりません。

ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

#### [BASIC システムモードプログラム]

BASIC のシステムモードプログラムを指定します。

指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

##### 開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。

他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	1
設定範囲	0～23

##### プログラムファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC システムモードプログラムを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

ファイルが指定されていない場合、[BASIC システムモードプログラム] は有効な設定になりません。

ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

#### [BASIC データファイル]

BASIC のデータファイルを指定します。

指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

#### 開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。

他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	2
設定範囲	0～23

#### データファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC のデータファイルを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

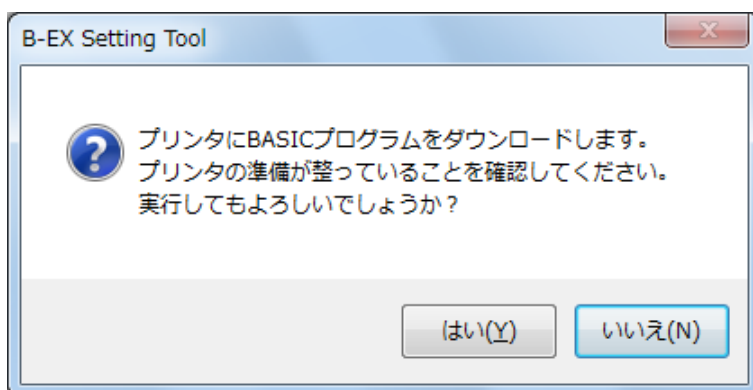
ファイルが指定されていない場合、[BASIC データファイル] は有効な設定になりません。

ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

#### [ダウンロード開始...]

有効された項目のプログラムのダウンロードや設定の更新を実行します。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

有効な設定がされていない場合、無効になります。

プログラムやデータをプリンタに送信後、プリンタの更新が完了するまで待機します。

複数の項目が有効になった場合、上から順に同じ処理が実行されます。

プリンタの現在のプログラムに関係なく、指定された設定でプログラムのダウンロードや設定の更新が行われます。

※ BASIC のダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定ともに、“自動” に設定して行ってください。

※ 複数ファイルを選択しダウンロードする場合、「自動断線チェック」と「自動用紙測定」の設定を”無効” にして実施ください。

## エミュレーションダウンロードタブ

ファームウェア
BASIC
エミュレーション
HTML/XML ROM作成

☐ メモリアロケート

True Type Font 登録領域: 0 KB (0 Block)

ビットマップ外字登録領域: 0 KB (0 Block)

☒ BASIC領域を保持する

BASICファイル登録領域:

PCセーブ登録領域:

	タイプ	開始ブロック	使用ブロック	ファイル名	追加	クリア
▶	メインプログラム	0			追加	クリア
	システムモードプログラム	2			追加	クリア
	Z Mode システムファイル	3			追加	クリア
	Z Mode 初期値ファイル	4			追加	クリア
	D Mode 初期値ファイル	5			追加	クリア
	MODE切り替え			NONE		
	ファイル送信				追加	クリア

ダウンロード開始...

BASIC プログラムをダウンロードする場合、途中で電源が切れることが無い環境で実行してください。ダウンロード中にプリンタの電源が切れた場合、再度ダウンロードを行なってください。

### 【メモリアロケート】

プリンタの内蔵メモリをアロケートするか否かを指定します。  
 チェックボックスのデフォルト値は、「チェック無し」になります。  
 チェック有りの場合、登録領域の設定が有効になります。  
 ダウンロードを実行した場合、内蔵メモリを各領域に指定したサイズで割当てされます。  
 各領域の合計が内蔵メモリの総容量になるように指定してください。  
 指定した容量とプリンタの内蔵メモリの容量が合わない場合、プリンタで自動調整されます。  
 優先順位： True Type フォント>ビットマップ外字>BASIC ファイル>PC セーブ

#### [True Type フォント登録領域]

True Type フォントを保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	0 KB
設定項目	0～3072 KB (128 KB 単位)

#### [ビットマップ外字登録領域]

ビットマップ外字を保存する領域のサイズを選択します。

デフォルト値	0 KB
設定項目	0～3072 KB (128 KB 単位)

#### [BASIC 領域を保持する]

BASIC ファイル登録領域を保持するかをチェック有／無により設定します。

チェック有りの場合：BASIC ファイルの登録領域はアロケートされずに既存のデータが保持されます（デフォルト）。

チェック無しの場合：[BASIC ファイル登録領域] が選択可能となり、選択したサイズでアロケートされます。

[BASIC ファイル登録領域]

BASIC プログラムを保存する領域のサイズを選択します。  
768KB（6 ブロック）以上を指定してください。

デフォルト値	768 KB
設定項目	0～3072 KB（128 KB 単位）

[PC セーブ登録領域]

PC セーブのデータを保存する領域のサイズが表示されます。  
他の領域に割当てたメモリの残りの容量が割当てられます。  
マイナス値にならないように他の領域を調整してください。  
[BASIC 領域を保持する] がチェック有りの場合は、表示されません。

[メインプログラム]

BASIC のメインプログラムを指定します。  
指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。  
他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	0
設定範囲	0～23

プログラムファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC メインプログラムを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。  
ファイルが指定されていない場合、[BASIC メインプログラム] は有効な設定になりません。  
ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

[システムモードプログラム]

BASIC のシステムモードプログラムを指定します。  
指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

開始ブロック

プログラムを保存するプリンタの領域を指定します。  
他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	2
設定範囲	0～23

プログラムファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC システムモードプログラムを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。  
ファイルが指定されていない場合、[BASIC システムモードプログラム] は有効な設定になりません。  
ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

#### [Z Mode システムファイル]

Z Mode の「システムパラメータ設定」画面で保存したファイルを指定します。  
指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

##### 開始ブロック

データファイルを保存するプリンタの領域を指定します。  
他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	3
設定範囲	0～23

##### データファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC のデータファイルを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。  
ファイルが指定されていない場合、[BASIC データファイル] は有効な設定になりません。  
ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。  
※指定したファイル名にかかわらず、送信時には「ZEBRAPRM.TXT」というファイル名で送信されます。

#### [Z Mode 初期値ファイル]

Z Mode の「初期値 & テーブル設定」画面で保存したファイルを指定します。  
指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

##### 開始ブロック

データファイルを保存するプリンタの領域を指定します。  
他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	4
設定範囲	0～23

##### データファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC のデータファイルを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。  
ファイルが指定されていない場合、[BASIC データファイル] は有効な設定になりません。  
ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。  
※指定したファイル名にかかわらず、送信時には「ZDEFAULT.TXT」というファイル名で送信されます。

#### [D Mode 初期値ファイル]

D Mode の「初期値 & テーブル設定」画面で保存したファイルを指定します。  
指定されたファイルがプリンタの指定されたブロックにダウンロードされます。

##### 開始ブロック

データファイルを保存するプリンタの領域を指定します。  
他のブロックと重ならない値を指定してください。

デフォルト値	5
設定範囲	0～23

##### データファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。BASIC のデータファイルを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。  
ファイルが指定されていない場合、[BASIC データファイル] は有効な設定になりません。  
ファイルの読み込み、または、ダウンロードデータの生成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。  
※指定したファイル名にかかわらず、送信時には「DPARAM.TXT」というファイル名で送信されます。

#### [MODE 切り替え]

Z Mode/D Mode の ON/OFF の切り替えコマンド送信有無を指定します。

「NONE」を指定した場合、MODE 切り替えコマンドは送信されません。

デフォルト値	NONE
設定範囲	NONE, MODE ON, MODE OFF

#### [ファイル送信]

指定された任意のファイルを送信します。

##### データファイル

[追加]ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して [開く] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

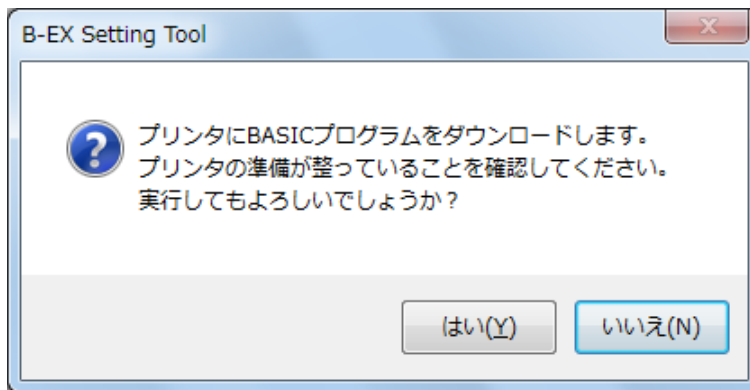
ファイルが指定されていない場合、ファイル送信されません。

ファイルの読み込みに失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

#### [ダウンロード開始...]

有効された項目のプログラムのダウンロードや設定の更新を実行します。

クリックすると、以下の確認メッセージが表示されます。



[はい] をクリックすると、処理が開始されます。

[いいえ] をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

有効な設定がされていない場合、無効になります。

プログラムやデータをプリンタに送信後、プリンタの更新が完了するまで待機します。

複数の項目が有効になった場合、上から順に同じ処理が実行されます。

プリンタの現在のプログラムに関係なく、指定された設定でプログラムのダウンロードや設定の更新が行なわれます。

※ エミュレーションのダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定ともに、“自動”に設定して行ってください。

※ 複数ファイルを選択しダウンロードする場合、「自動断線チェック」と「自動用紙測定」の設定を”無効”にして実施ください。

## OpenTypeFont ダウンロードタブ

### [ダウンロード済みフォント]

プリンタにインストール済みのフォント一覧を表示します。

フォント一覧を取得するには「取得...」ボタンをクリックし、プリンタからフォント情報を取得します。

### [クリア]

インストール済みフォント一覧をクリアします。

このボタンを実行してもプリンタからフォントは削除されません。

### [追加フォント]

追加する OpenTypeFont または TrueTypeFont 一覧を表示します。

### [追加...]

追加フォントリストに OpenTypeFont または TrueTypeFont を追加します。

「追加」ボタンをクリックすると、ファイル選択ダイアログが表示されます。

選択できるファイルは拡張子が「\*.otf」または「\*.ttf」です。

「ダウンロード済みフォント」または「追加フォント」にリストされているフォント名と同名のフォントを追加することはできません。

### [クリア]

追加フォント一覧をクリアします。

#### [上書きする]

プリンタに登録されているフォントを削除し、新規追加のフォントを上書きします。

ダウンロード済みのフォントはすべて削除されますのでご注意ください。

「上書きする」が有効の場合、複数インターフェースで同時にフォントファイルのダウンロードが可能です。

※補足：工場出荷時に予めダウンロードされているフォントは削除されません。

#### [取得...]

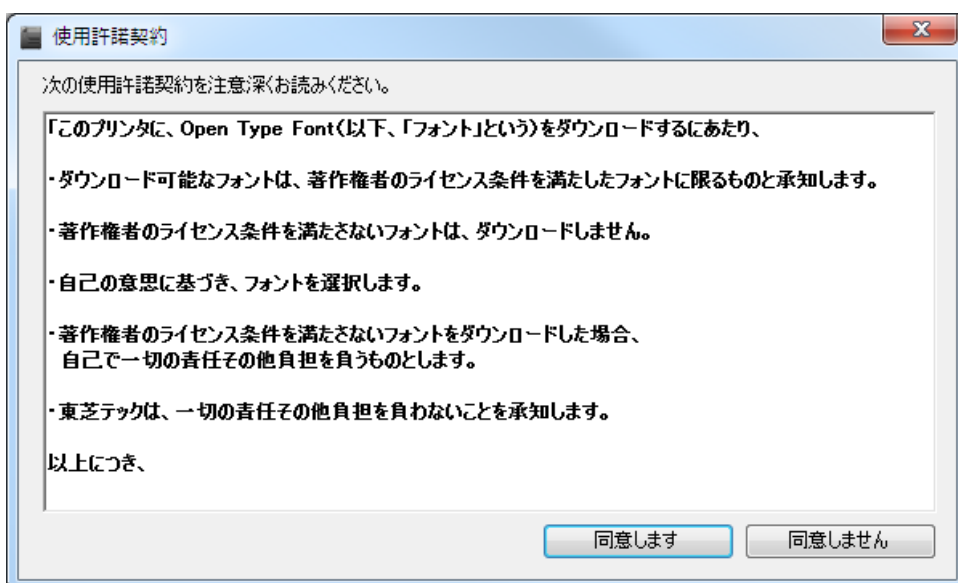
プリンタからフォント情報を取得します。

#### [ダウンロード開始...]

「追加フォント」リストに追加したフォントファイルのダウンロードを実行します。

プリンタ未接続または複数のインターフェースを設定している場合、グレースアウトします。

クリックすると、使用許諾確認メッセージが表示されます。



「同意します」をクリックするとダウンロードが開始します。

「同意しません」をクリックすると、中止します。

処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインモードで状態がアイドルの場合に実行されます。

有効な設定がされていない場合、無効になります。

データをプリンタに送信後、プリンタへのダウンロードが完了するまで待機します。

複数のファイルを追加した場合、リストの上から順に同じ処理が実行されます。

※ Open Type Font のダウンロードは、プリンタ側の制御コードの設定、ツール側の制御コードの設定ともに、“自動”に設定して行ってください。



## HTML/XML ROM作成タブ

ROMタイプ: HTML/XML

ソースパス:  ...

セクション: XML

バージョン: V1.0

モデル: B-EX

アドレス: 00B00000

サイズ: 1024

日付: 01JAN2008

ソースリスト:

ROMリスト:

No.	ID	ファイル名	オフセット	サイズ
-----	----	-------	-------	-----

作成

### [ROM タイプ]

作成する ROM ファイルの種別を選択します。

設定により、「Load Address」と「Size」が異なります。

デフォルト値	HTML/XML
設定項目	HTML/XML

### [ソースパス]

HTML/XML 用ファイルが格納された場所を指定します。



ボタンをクリックすると、フォルダの選択画面が表示されます。HTML/XML 用ファイルが格納されたフォルダ指定して [OK] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

[ROM タイプ] が「HTML/XML」の場合、[ソースリスト] にソースファイルが表示されます。

指定されたフォルダにファイルが 1 つもない場合、エラーメッセージが表示されます。空のファイル、または、ファイル名が 24 文字以上のファイルは含まれません。

### [セクション]

HTML/XML 用 ROM のセクション情報を指定します。

※デフォルト設定から変更しないでください。

### [バージョン]

HTML/XML 用 ROM のバージョン情報を指定します。

英数字とドット記号が使用できます。最大 5 文字まで入力できます。

### [モデル]

HTML/XML 用 ROM 情報のモデル名を指定します。

※デフォルト設定から変更しないでください。

### [アドレス]

HTML/XML 用 ROM のアドレス情報を指定します。

※デフォルト設定から変更しないでください。

#### [サイズ]

HTML/XML 用 ROM のサイズを指定します。  
※デフォルト設定から変更しないでください。

#### [日付]

HTML/XML 用 ROM の日付情報を指定します。  
年月日を「DDMMYYYY」の形式で入力してください。  
DD : 日 (00,01,02.....29,30,31)  
MMM : 月 (JAN,FEB,MAR,APR,MAY,JUN,JUL,AUG,SEP,OCT,NOV,DEC)  
YYYY : 年 (2016,2017,2018....)

#### [ソースリスト]

[ROM タイプ] で「HTML/XML」の場合、[ソースパス] に指定されたフォルダ下の特定パスにあるファイルが表示されます。  
表示されるファイルは、XML 用の ROM ファイルを作成するための元ファイルになります。

\XML フォルダ :	XML 用ファイル
\GRP_DATA フォルダ :	グラフィック用ファイル
\ENG\HTML フォルダ :	英語用ファイル
\ENG\PASS フォルダ :	英語用ファイル
\JPN\HTML フォルダ :	日本語用ファイル
\JPN\PASS フォルダ :	日本語用ファイル
\MAIL フォルダ :	メール用ファイル
\MAIL\TEXT フォルダ :	メール用ファイル

ファイルリストの下部に表示された容量と、MAX サイズに対するパーセントを表示します。

#### [ROM リスト]

作成された ROM ファイル内のデータ構成が表示されます。  
ROM ファイルの作成を実行すると、表示をクリアし、ROM ファイルに変換されたファイルの状況が表示されます。  
英語用ファイル、日本語用ファイルで同一のファイル名、ファイル内容のものは、共通ファイルとして、1 つのファイルとして扱われます。

#### [作成]

指定した条件でファイルリストのファイルから ROM ファイルが作成されます。  
クリックすると、処理が開始されます。  
作成中はキャンセルできません。  
[ROM リスト] に変換された ROM データの結果が表示されます。  
ファイルリストと [出力ファイル] が設定されていない場合、無効になります。  
作成された ROM ファイルは、[ファームウェアダウンロード] タブでプリンタにダウンロードしてください。  
ファイル数が 128 を超えた、または、ROM リストの全ファイルのトータルが「Size」をオーバーした場合、エラーメッセージが表示されます。  
ファイルの読み込み、または、ROM ファイルの作成、または、保存に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

# ツール

プリンタを使用する上で便利な機能を使用できます。  
「メニューアイコン」の「ツール」アイコンをクリックすると、表示されます。

## ツールタブ



### 「ファイル送信...」

指定したファイルがバイナリデータとしてプリンタに送信されます。  
クリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。任意のファイルを指定して「開く」をクリックすると、処理が開始されます。  
処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。  
外字ファイルやプリンタコマンドファイル等をプリンタに送信する場合に使用します。  
プリンタの状態に関係なく実行されます。

### 「エミュレーションを ON にする」

プリンタのエミュレーション機能を有効にします。

### 「エミュレーションを OFF にする」

プリンタを TPCL に切り替えます。

## 外字作成タブ

### [指定方法]

ビットマップパスの指定方法を選択します。

1つのビットマップファイルから外字を作成する場合、「ファイル」を選択してください。

複数のビットマップファイルから外字を作成する場合、「フォルダ」を選択してください。

デフォルト値	ファイル
設定項目	ファイル、フォルダ


### [場所]

登録するメモリの種別を選択します。

デフォルト値	内蔵メモリ
設定項目	内蔵メモリ、USBメモリ

### [ビットマップパス]

ビットマップが格納された場所を指定します。

 ボタンをクリックすると、パスの選択画面で指定した場所のフルパスが表示されます。

ビットマップファイルの形式は、2色で作成されたモノクロビットマップのみ使用可能です。ビットマップの1ドットは、ペイントでサイズをピクセル単位で指定したときの1ピクセルに相当します。

〔指定方法〕で「ファイル」を選択した場合、ファイルの選択画面で1つのビットマップファイルを指定します。

指定されたファイルがモノクロビットマップでない場合、エラーメッセージが表示されます。

指定されたファイルが登録可能な幅や高さを超えている場合、エラーメッセージが表示されます。

〔指定方法〕で「フォルダ」を選択した場合、フォルダの選択画面で複数のビットマップファイルが格納されたフォルダを指定します。指定したフォルダ内のファイル名が形式と一致したビットマップファイルが〔ビットマップリスト〕に表示されます。

指定されたフォルダに正しい形式のモノクロビットマップが無かった場合、エラーメッセージが表示されます。

#### ◆ビットマップファイル名の形式

G\_“外字種類”“外字コード”(“レフトオフセット”“トップオフセット”“文字間隔”).bmp

<例> 外字種類：01、外字コード：20の場合、G\_0120.bmp or G\_0120\_0\_0\_0.bmp

外字種類：51、外字コード：FFFFの場合、G\_51FFFF.bmp or G\_51FFF\_0\_0\_0.bmp

◆ビットマップファイルの制限

[外字種類] が「41」の場合、16 x 16 ドット  
 [外字種類] が「42」の場合、24 x 24 ドット  
 [外字種類] が「43」の場合、32 x 32 ドット  
 [外字種類] が「44」の場合、48 x 48 ドット  
 [外字種類] が上記以外の場合

場所	プリンタ	解像度	設定範囲
内蔵メモリ	-	-	720x720 ドット以下
USB メモリ	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi)	203 dpi	1280 x 5460 ドット以下
	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi)	305 dpi	1920 x 5460 ドット以下

[ビットマップリスト]

[ビットマップパス] に指定された場所のビットマップファイルが表示されます。  
 表示されたファイルは、外字ファイルを作成するための元ファイルになります。

[サイズ]

[ビットマップリスト] で選択されたビットマップファイルのサイズとイメージが表示されます。

[外字種類]

外字として登録されるときに使用する種類を指定します。  
 [指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	01
設定範囲	[場所] が「内蔵メモリ」 : 01~44、51
	[場所] が「USB メモリ」 : 01~44、51~55

[外字コード]

外字として登録されるときに使用する文字コードを HEX 形式で指定します。  
 2 文字で 1 文字の HEX を表します。(例: “0”→“30”、“A”→“41”)  
 [指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	20
設定範囲	[外字種類] が「01」～「40」 : 20~FF
	[外字種類] が「41」～「44」 : 40~7E、80~FC
	[外字種類] が「51」～「55」 : 2020~FFFF

[レフトオフセット]

印字する基点座標に対する左側のオフセット量を指定します。  
 [外字種類] で「41」～「44」が選択された場合、無効になります。  
 [指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

場所	プリンタ	解像度	設定範囲	デフォルト値
内蔵メモリ	-	-	0~719 ドット	0
USB メモリ	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi)	203 dpi	0~1279 ドット	
	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi)	305 dpi	0~1919 ドット	

[トップオフセット]

印字する基点座標に対する上側のオフセット量を指定します。  
 [外字種類] で「41」～「44」が選択された場合、無効になります。  
 [指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

デフォルト値	0 ドット
設定範囲	[場所] が「内蔵メモリ」 : 0~719 ドット
	[場所] が「USB メモリ」 : 0~5460 ドット

# [文字間隔]

次の印字する文字との間隔に対する調整量を指定します。

[外字種類] で「41」～「44」が選択された場合、無効になります。

[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

場所	プリンタ	解像度	設定範囲	デフォルト値
内蔵メモリ	-	-	0～999 ドット	0
USB メモリ	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi)	203 dpi	0～1280 ドット	
	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi)	305 dpi	0～1920 ドット	

# [解像度]

解像度を選択します。

設定項目	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi)	203 dpi、305 dpi
------	--	-----------------

# [確認ファイル]

作成された外字ファイルを確認するための印字コマンドファイルを作成するか否かを設定します。

チェックボックスがチェック有りの場合、指定した [倍率]、[印字方式]、[ラベル長]、[ラベル幅] の設定で印字コマンドファイルが作成されます。印字速度は“3 inch/sec”、センサーは“センサー無し”、発行タイプは“連続発行”固定になります。

プリンタに外字ファイルの登録が完了した後に送信すると登録された外字を確認することができます。

拡張子は“prn”、ファイル名は出力ファイル名になります。

[指定方法] で「フォルダ」が選択された場合、無効になります。

# [倍率]

登録された外字を印字確認するときの倍率を選択します。

デフォルト値	1.0 x 1.0
設定項目	0.5 x 0.5、1.0 x 1.0、2.0 x 2.0、3.0 x 3.0、1.0 x 2.0、2.0 x 1.0

# [印字方式]

印字方式を選択します。

プリンタ	設定項目	デフォルト値
B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi)	熱転写	熱転写
	熱転写 (リボンセーブ)	
	直接感熱	
	直接感熱 (ヘッドアップ)	
B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi)	熱転写	熱転写
	直接感熱	

# [ラベル長]

ラベルの有効印字長を指定します。ラベルギャップは 2mm 固定になります。

デフォルト値	74 mm
設定項目	8～1498 mm


# [ラベル幅]

ラベルの有効印字幅を指定します。

デフォルト値	160 mm
設定範囲	10～160 mm

# [出力ファイル]

外字データを保存するファイルを指定します。

 ボタンをクリックすると、ファイルの選択画面が表示されます。保存するファイルを指定して [保存] をクリックすると、ファイル名にフルパスが表示されます。

拡張子は“gai”になります。

指定されたファイルは初期化され、作成された外字データが保存されます。

#### [作成]

指定した条件でビットマップからプリンタの外字コマンドが作成されます。

クリックすると、処理が開始されます。

作成中はキャンセルできません。

〔ビットマップパス〕と〔出力ファイル〕が設定されていない場合、無効になります。

〔指定方法〕で「ファイル」を選択した場合、指定されたビットマップファイルから外字ファイルが作成されます。

〔指定方法〕で「フォルダ」を選択した場合、〔ビットマップリスト〕のビットマップファイルから 1 つの外字ファイルが作成されます。

外字コマンドはニブルデータで作成されます。

作成された外字ファイルは、〔ツール〕タブの〔ファイル送信〕でプリンタに登録してください。

ファイルの読み込み、または、外字データの作成、または、保存に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

## テスト印字タブ

印字パターン

印字パターン: 斜線3ドット印字

解像度: 203 dpi

印字条件

印字枚数: 1 枚

印字速度: 5 inch/sec

センサー: センサー無し

実行タイプ: 連続実行

カット間隔: 0 枚

印字方式: 熱転写

ラベル長: 74 mm

ラベルギャップ: 2 mm

ラベル幅: 152 mm

濃度微調: 0

テスト印字

### 【印字パターン】

#### 〔印字パターン〕

印字するパターンを選択します。

デフォルト値	斜線 3 ドット印字
設定項目	斜線 3 ドット印字、キャラクタ印字、バーコード印字

#### 〔解像度〕

解像度を選択します。

デフォルト値	203 dpi
設定項目	203 dpi、305 dpi

### 【印字条件】

#### 〔印字枚数〕

印字する枚数を指定します。

デフォルト値	1
設定範囲	1～9999

#### 〔印字速度〕

印字する速度を選択します。

デフォルト値	5 inch/sec
設定項目	3 inch/sec、5 inch/sec、8 inch/sec、10 inch/sec、12 inch/sec

#### 〔センサー〕

センサーを選択します。

デフォルト値	センサー無し
設定項目	センサー無し、反射センサー、透過センサー、透過センサー（手動）、反射センサー（手動）



[発行タイプ]

発行タイプを選択します。

デフォルト値	連続発行
設定項目	連続発行、剥離発行

[カット間隔]

カットする間隔を指定します。

デフォルト値	0
設定範囲	0～100

[印字方式]

印字方式を選択します。

デフォルト値	熱転写
設定項目	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) : 熱転写、熱転写（リボンセーブ）、直接感熱、直接感熱（ヘッドアップ）
	B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi) : 熱転写、直接感熱

[ラベル長]

ラベルの有効印字長を指定します。

デフォルト値	74 mm
設定範囲	8～1498 mm

[ラベルギャップ]

ラベル間のギャップ長を指定します。

デフォルト値	2 mm
設定範囲	0～20 mm

[ラベル幅]

ラベルの有効印字幅を指定します。

デフォルト値	160 mm
設定範囲	10～160 mm

[濃度微調整]

濃度微調整を指定します。

[印字方式]で指定した方式の濃度微調コマンドのみが送信されます。濃度微調コマンドで設定された値は、再設定されるまで有効になります。

デフォルト値	0
設定範囲	-20～20

## [テスト印字]

指定した条件でプリンタから印字されます。

クリックすると、処理が開始されます。

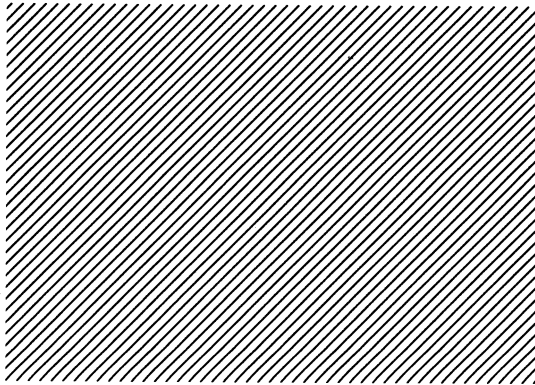
処理を開始すると進行状況画面が表示され、完了すると完了画面が表示されます。

プリンタがオンラインで状態がアイドルの場合に実行されます。

プリンタが"TPCL"モードの状態で行ってください。

ファイルの読み込み、または、イメージデータの作成に失敗した場合、エラーメッセージが表示されます。

斜線 3 ドット



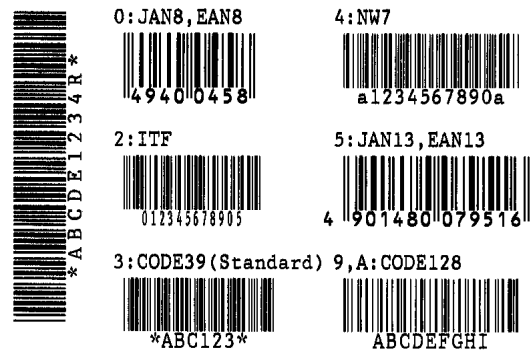
キャラクタ

A/0123ABCDEFGHJ G/0123ABCDEFGHJKLMNP  
B/0123ABCDEFGH I/0123ABCDEFGH  
C/0123ABCDEFGH J/0123ABCDEFGH  
D/0123ABCDEFGH K/0123ABCDE  
E/0123ABCDE L/0123ABCDEFGH  
F/0123ABCDEFGH  
M/0123ABCDEFGH  
N/0123ABCDEFGH  
O/0123ABCDEFGH  
P/0123ABCD  
Q/0123ABCD  
R/0123ABC  
S/0123ABC  
T/0123ABC

0123456  
0123456  
0123456  
ABCDEF  
ABCDEF

**AB**

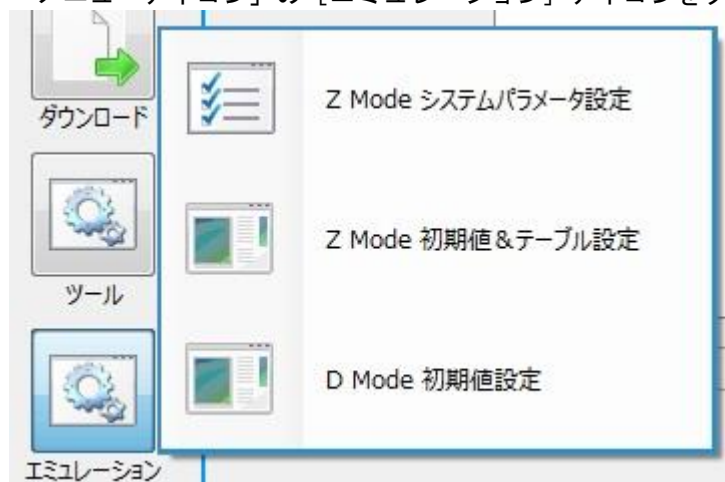
バーコード



## エミュレーション

エミュレーションに関する設定を変更できます。

「メニューアイコン」の「エミュレーション」アイコンをクリックすると、メニュー表示されます。



## Z Mode システムパラメータ設定

### Z Mode システムパラメータ設定タブ

Z Mode システムパラメータ			
ファイル名:	<input type="text"/>		
ラベル長:	<input type="text" value="105.0"/> mm	コード設定	有効コマンド
ラベル幅:	<input type="text" value="104.0"/> mm	コントロールPREFIX(^):	<input checked="" type="checkbox"/> ラベル長(LL)
リボン:	WITH RIBBON SAVE	7E	<input checked="" type="checkbox"/> 用紙タイプ(MN)
発行モード:	NO CUT	フォーマットPREFIX(^):	<input checked="" type="checkbox"/> リボン有無(MT)
センサー種別:	TRANS	5E	<input checked="" type="checkbox"/> 印字濃度微調(SD)
印字速度:	3 inch/sec (G/T)	デリミタ文字(^):	<input checked="" type="checkbox"/> 印字濃度微調(MD)
最大用紙長(キャリブレーション時):	<input type="text" value="500.0"/> mm	グラフィック座標:	SPEED-ORIENTED
電源投入用紙動作:	CALIBRATE	タブスペース変換:	<input type="text" value="4"/>
ヘッドクローズ用紙動作:	CALIBRATE	RFID書き込み位置調整:	<input type="text" value="0.0"/> mm
DOT/MM:	12 or 8 dot/mm	RFIDオフセット印刷:	NONE
フォーマット変換:	NONE	ラベルシフト:	<input type="text" value="0.0"/> mm

読み込み... 保存... ダウンロード... パラメータ取得...

Z Mode のシステムモードパラメータを設定します。プリンタ本体の設定項目と同じ内容が設定できます。

[ラベル長]

デフォルト値	105.0 mm
設定範囲	10.0～1500.0 mm

[ラベル幅]

デフォルト値	160.0 mm
設定範囲	10.0～160.0 mm

[リボン]

デフォルト値	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) : WITH RIBBON SAVE
	B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi) : WITH RIBBON
設定項目	B-EX6T1-G/T (203dpi/305dpi) : WITHOUT RIBBON、WITH RIBBON SAVE、WITH RIBBON、WITHOUT RIBBON H
	B-EX6T3-G/T (203dpi/305dpi) : WITHOUT RIBBON、WITH RIBBON

[発行モード]

デフォルト値	NO CUT
設定項目	NO CUT、PEEL OFF、PEEL OFF A、WITH CUT、DELAYED CUT、RFID

[センサー種別]

デフォルト値	TRANS
設定項目	NONE、REFLECT、TRANS、TRANS PREPRINT、REFLECT MANUAL T

[印字速度]

デフォルト値	3 inch/sec (G/T)
設定項目	3 inch/sec (G/T)、5 inch/sec (G/T)、8 inch/sec (G/T)、10 inch/sec (G/T)、12 inch/sec (G/T)

[最大用紙長（キャリブレーション時）]

デフォルト値	500.0 mm
設定範囲	10.0～1500.0mm

[電源投入用紙動作]

デフォルト値	CALIBRATE
設定項目	CALIBRATE、SHORT CALIBRATE、SET LENGTH、NONE、FEED

[ヘッドクローズ用紙動作]

デフォルト値	CALIBRATE
設定項目	CALIBRATE、SHORT CALIBRATE、SET LENGTH、NONE、FEED

[DOT/MM]

デフォルト値	12 or 8 dot/mm
設定項目	12 or 8 dot/mm、6 or 4 dot/mm

[フォーマット変換]

デフォルト値	NONE
設定項目	NONE、150 -> 300、150 -> 600、200 -> 600、300 -> 600

[グラフィック座標]

デフォルト値	SPEED-ORIENTED
設定項目	SPEED-ORIENTED、PRECISE POSITION

[タブスペース変換]

デフォルト値	4
設定範囲	0～99

[RFID 書き込み位置調整]

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-999.9～999.9 mm

[RFID オフセット印刷]

デフォルト値	NONE
設定項目	NONE、WITHOUT BACKFEED、WITH BACKFEED

[ラベルシフト]

デフォルト値	0.0 mm
設定範囲	-999.9～999.9 mm

— コード設定 —

1. 「コントロール PREFIX(^)」  
設定範囲 : 00 ～ FF (16 進数)
2. 「フォーマット PREFIX(^)」  
設定範囲 : 00 ～ FF (16 進数)
3. 「デリミタ文字(.)」  
設定範囲 : 00 ～ FF (16 進数)

— 有効コマンド —

コマンドパラメータとシステムモードパラメータ(本ツールおよびプリンタ本体による設定)のどちらを有効とするのかを、チェック有／無により設定します。

チェック有りの場合 : コマンドパラメータが有効となります。(システムモードパラメータは無効)

チェック無しの場合 : システムモードパラメータが有効となります。(コマンドパラメータは無効)

1. [ラベル長(LL)]
2. [用紙タイプ(MM)]
3. [リボン有無(MT)]
4. [印字濃度微調(SD)]
5. [印字濃度微調(MD)]

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。

[保存]

設定内容をファイルに保存します。

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。

[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。

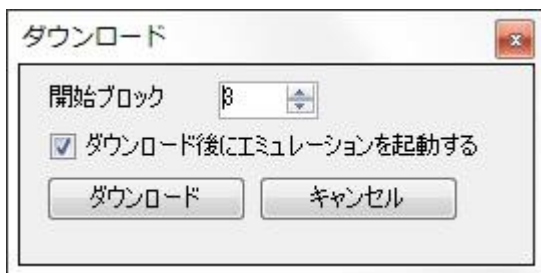
※プリンタで Z Mode のパラメータ設定を一度も行っていない場合、および、本ツールでシステムパラメータファイルをプリンタに一度も送信していない場合は、設定情報の取り込みはできません。

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

□

□ ダウンロード画面



[開始ブロック]

パラメータを保存するプリンタの領域を指定します。

デフォルト値	3
設定範囲	0～23

[ダウンロード後に Z Mode を起動する]

チェックを有効にするとダウンロード後に Z Mode を起動します。

[ダウンロード]

パラメータのダウンロードを開始します。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

# Z Mode 初期値&テーブル設定

Z Mode の初期値、フォント変換テーブル、ドライブの割当てを設定します。

## Z Mode 初期値設定タブ

Z Mode 初期値設定

Z Mode フォントコンバートテーブル

Z Mode ドライブマッピング

Z Mode 応答コマンド

ファイル名:

初期値に戻す...

Barcode(BY):

デフォルト高さ: 10

モジュールサイズ: 2

細バー太バーの比: 3.0

Field(FP):

デフォルトローテーション: 通常(左→右)

キャラクタ間ギャップ: 0

Serialization(SN):

INC/DEC: 1

☒ ゼロサプレス

Unit(MU):

単位: dot

Field Block(FB):

矩形の幅: 0

行数: 1

行間DOT: 0

文字揃え: 左寄せ

X座標補正: 0

Graphic(GB,GC,GD):

ライン幅: 1

Darkness(SD,MD):

濃度微調値: 0

Code Page(CD):

キャラクタセット: 0

Label(LH,LS,PM,PO,PF,LT):

ラベルホームX座標: 0

ラベルホームY座標: 0

ラベル回転・ミラー印字: 戻出し印字

Yオフセット: 0

フィード微調値: 0

Print(PQ):

印字枚数: 1

カット枚数: 0

PC Save Area Allocate:

フォーマットデータ領域: 0

GETCMDZB:

動作設定: 受信バッファからデータを読み込む

読み込み...

保存...

ダウンロード...

パラメータ取得...

Z Mode でコマンドやパラメータが省略された場合の初期値とコンバータ内部の動作を設定します。

### <設定項目>

#### 【BarCode(BY)】グループ

##### [デフォルト高さ]

デフォルト値	10
設定範囲	1~999

##### [モジュールサイズ]

デフォルト値	2
設定範囲	1~10

##### [細バー太バーの比]

デフォルト値	3.0
設定範囲	2.0~3.0

#### 【Field (FP)】グループ

##### [デフォルトローテーション]

デフォルト値	通常 (左→右)
設定項目	通常 (左→右)、縦書き、反転 (右→左)

##### [キャラクタ間ギャップ]

デフォルト値	0
設定範囲	0~999

**【Serialization (SN)】グループ****[INC/DEC]**

デフォルト値	1
設定範囲	-9999999999～9999999999

**[ゼロサプレス]**

デフォルト値	チェック有り（ゼロ埋めする）
設定項目	チェック有り（ゼロ埋めする）、チェック無し（ゼロ埋めしない）

**【Unit (MU)】グループ****[単位]**

デフォルト値	dot
設定項目	dot、inch、mm

**【Field Block (FB)】グループ****[矩形の幅]**

デフォルト値	0
設定範囲	0～用紙幅（用紙幅を超える値は入力しないでください）

**[行数]**

デフォルト値	1
設定範囲	0～999

**[行間 DOT]**

デフォルト値	0
設定範囲	-999～999

**[文字揃え]**

デフォルト値	左寄せ
設定項目	左寄せ、中央寄せ、右寄せ、均等割付

**[X 座標補正]**

デフォルト値	0
設定範囲	0～999

**【Graphic (GB,GC,GD)】グループ****[ライン幅]**

デフォルト値	1
設定範囲	0～999

**【Darkness (SD,MD)】グループ****[濃度微調値]**

デフォルト値	0
設定範囲	-30～30

**【Code Page (CI)】グループ****[キャラクタセット]**

デフォルト値	0
設定範囲	0～30

**【Label(LH,LS,PM,PO,PF,LT)】グループ****[ラベルホーム X 座標]**

デフォルト値	0
設定範囲	0～9999



[ラベルホーム Y 座標]

デフォルト値	0
設定範囲	0～9999

[ラベル回転・ミラー印字]

デフォルト値	尻出し印字
設定項目	尻出し印字、頭出し印字、尻出しミラー印字、頭出しミラー印字

[Y オフセット]

デフォルト値	0
設定範囲	設定はできません。

[フィード微調値]

デフォルト値	0
設定範囲	-120～120

【Print (PQ)】グループ

[印字枚数]

デフォルト値	1
設定範囲	1～9999

[カット枚数]

デフォルト値	0
設定範囲	0～999

【PC Save Area Allocate】グループ

Z Mode でのフォーマット用の保存領域サイズ（ブロック数）を決定します。保存領域は TPCL の PC セーブエリアを使用します。Z Mode では PC セーブエリアをフォーマット用とグラフィック用の 2 つに分けて管理します。

PC セーブエリアとして確保された領域のうち、フォーマット用（コマンド用）に確保するエリアのブロック数を指定します。残りがグラフィック用のエリアとなります。

[フォーマットデータ領域]

0 以外の場合、フォーマット用に確保するエリアのブロック数として指定  
（残りのブロック数がグラフィック用となる）

0 の場合、フォーマット用とグラフィック用でエリアのブロック数を半々として指定

デフォルト値	0
設定範囲	0～99

【GETCMDZB】グループ

[動作設定]

デフォルト値	受信バッファからデータを読み込み
設定項目	受信バッファからデータを読み込み、BASIC アプリからのデータ取得

受信バッファからデータを読み込み

Z Mode の通常モードです。（通常は変更しないでください。）

受信バッファのデータをコンバータファームウェアで直接解析し、コマンド変換します。

BASIC アプリからのデータ取得

Z Mode でコマンド変換が対応出来ない場合など、BASIC のアプリケーションで受信コマンドを変更してからコンバータファームウェアに変換処理を行わせます。

【注意】

この「BASIC アプリからのデータ取得」モードを選択した場合は、BASIC アプリケーションの変更が必要です。

## <ボタン>

### [読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

### [保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

### [ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

### [パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

※本ツールで“初期値設定&テーブルファイル”をプリンタに一度も送信していない場合は、設定情報の取り込みはできません。

### [初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

## Z Mode フォントコンバートテーブルタブ

☒ Z Mode 初期値設定
 ☒ Z Mode フォントコンバートテーブル
 ☐ Z Mode ドライブマッピング
 ☐ Z Mode 応答コマンド

ファイル名:  初期値に戻す...

Z Font Co...	Z Font Name	Z Font Kind	Min.Width	Min.Height	TPCL Font Type	TPCL Font Code	BMP Width
0	Z:0.FNT	Scalable	0	0	TrueType Font	Z0	0
1	Z:1.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5
2	Z:2.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5
3	Z:3.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5
4	Z:4.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5
5	Z:5.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5
6	Z:6.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5
7	Z:7.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5
8	Z:8.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5
9	Z:9.FNT	Bitmap Monospace	5	9	Bitmap Font	ZA	5

Zフォント  
 コード:  フォント名:  フォント種:  最小幅:  最小高さ:

TPCLフォント  
 種別:  コード:  文字間スペース:  格納場所:

幅補正係数:  キャップハイト補正係数:  ディセンダ補正係数:

### <ボタン>

#### [追加]

フォント変換テーブルの行を追加します。

追加登録されたフォントが、どのフォントコード（0 - 9、A - Z の1文字）に割り当てられるかが確定しない場合（CW コマンドが使用される場合）、行を追加して追加フォントに対応した設定値を入力します。

#### [修正]

登録済みの行の設定を変更します。

一覧表から変更したい行を選択（クリック）した状態で、[修正]ボタンをクリックします。

#### [削除]

[追加]ボタンで追加した行を削除します。

※追加した行以外は削除できません

一覧表から削除したい行を選択（クリック）した状態で、[削除]ボタンをクリックします。

#### [登録]

[追加]ボタン、[修正]ボタンで設定した内容を一覧表に反映させます。

#### [キャンセル]

[追加]ボタン、[修正]ボタンで設定した内容をキャンセルします。

#### [読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。（他のタブの設定項目も読み込まれます。）

[保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定内容も保存されます。)

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定内容もダウンロードされます。)

[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

※本ツールで“初期値設定 & テーブルファイル”をプリンタに一度も送信していない場合は、設定情報の取り込みはできません。

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

<フォント変換テーブル設定項目>

Z Font 関連

設定項目	説明
Z Font Code (コード)	Z フォントのフォントコード(0-9、A-Z)が表示されます。
Z Font Name (フォント名)	Z フォントのファイル名を設定する。 ※"Z:A.FNT"のようにファイル名は格納場所を含めて指定すること。 Z:ROM,R:RAM,B:FLASH CARD,E:COMPACT FLASH,A:ON BOARD FLASH
Z Font Kind (フォント種)	Z フォントの種類を設定する。種類は、次の 3 種類。 Scalable(0 フォント) Bitmap Monospace(A~H フォント) Bitmap Proportional(P~V フォント)
Min. Width (最小幅)	フォント種で設定したフォントの最小幅をドットで設定する。(1dot 単位) ※Scalable フォント時は必ず 0 にすること。
Min. Height (最小高さ)	フォント種で設定したフォントの最小高さをドットで設定する。(1dot 単位) ※Scalable フォント時は必ず 0 にすること。

# TPCL Font 関連

設定項目	説明
TPCL Font Type (種別)	Font Code で設定する TEC フォントの種類を設定する。 種類は、次の 4 種類。 Bitmap Font、Outline Font、GAIJI Font、True Type Font
TPCL Font Code (コード)	Z Font の変換対象となる TEC フォントを設定する。 ※外部機器 I/F 仕様 (TPCL 仕様) に基づき設定すること。
BMP Width (BMP/外字 幅補正係数)	Font Code で設定した TEC ビットマップ及び外字フォントの幅補正量をドットで設定する。(1dot 単位) 基本的にはフォント等倍時の幅サイズを設定する。 ※アウトライン/TTF フォント時には 0 にすること。
BMP Capital Height (BMP/外字 キャップハイト補正係数)	Font Code で設定した TEC ビットマップ及び外字フォントの高さに対するキャップハイトサイズをドットで設定する。(*1) (1dot 単位) 基本的にはフォント等倍時のキャップハイトサイズを設定する。 ※アウトライン/TTF フォント時には 0 にすること。
BMP Descender (BMP/外字 ディセンダ補正係数)	Font Code で設定した TEC ビットマップ及び外字フォントの高さに対するディセンダサイズをドットで設定する。(*2) (1dot 単位) 基本的にはフォント等倍時のディセンダサイズを設定する。 ※アウトライン/TTF フォント時には 0 にすること。
Outline Capital Height (アウトライン/TTF キャップハイト補正係数)	フォント値で設定した TEC アウトライン及び TrueType フォントの高さに対するキャップハイトサイズの割合をパーセンテージで設定する。(0.1%単位) ※下記のディセンダ補正率との和が 1000 になるよう設定すること。 ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
Outline Descender (アウトライン/TTF ディセンダ補正係数)	フォント値で設定した TEC アウトライン及び TrueType フォント高さに対するディセンダサイズの割合をパーセンテージで設定する。(0.1%単位) ※上記のキャップハイト補正率との和が 1000 になるよう設定すること。 ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
Outline Width (アウトライン/TTF 幅補正係数)	Font Code で設定した TEC アウトライン及び TrueType フォントの幅補正量をパーセンテージで設定する。(1%単位、50~150、100% で補正無し) ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
Outline Height (アウトライン/TTF 高さ補正係数)	Font Code で設定した TEC アウトライン及び TrueType フォントの高さ補正量をパーセンテージで設定。(1%単位、50~150、100% で補正無し) ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
BMP Character Space (BMP/外字 文字間隔)	Font Code で設定した TEC ビットマップ及び外字フォントの文字間スペース補正量をドットで設定する。(1dot 単位、0dot で補正無し) ※アウトライン/TTF フォント時には 0 にすること。
Outline Character Space (アウトライン/TTF 文字間隔)	変換対象の TEC アウトライン及び TrueType フォントの文字間スペースの補正量を文字幅に対するパーセンテージで設定する。(0.1%単位、0% で補正無し) ※Bitmap/外字フォント時には 0 にすること。
Drive (格納場所)	変換対象の TEC フォントの格納場所を設定する。 ※外部機器 I/F 仕様 (TPCL 仕様) に基づき設定すること。

\*1: キャップハイト ... フォントのベースラインから上の部分の高さ。

\*2: ディセンダ ... フォントのベースラインから下の部分の高さ。

## Z Mode ドライブマッピングタブ

ファイル名:  初期値に戻す...

Zドライブ: TPCLドライブ:

R: ----->	RAM
B: ----->	USB memory
E: ----->	Onboard flash memory
A: ----->	USB memory

読み込み... 保存... ダウンロード... パラメータ取得...

コマンドで指定されたドライブを TPCL のどのドライブに割り当てるかを設定します。

### <設定項目>

#### [TPCL ドライブ]

ZPL のドライブに対応した TPCL ドライブを指定します。

### <ボタン>

#### [読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

#### [保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

#### [ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

#### [パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

※本ツールで“初期値設定 & テーブルファイル”をプリンタに一度も送信していない場合は、設定情報の取り込みはできません。

#### [初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

## Z Mode 応答コマンドタブ

ファイル名:  [初期値に戻す...](#)

HI コマンド:

HM コマンド:

HS-1 コマンド:

HS-2 コマンド:

HS-3 コマンド:

HQMA コマンド:

HQMI コマンド:

HQOD コマンド:

HQPH コマンド:

HQES コマンド:

HQHA コマンド:

HQJT コマンド:

HQPP コマンド:

HQSN コマンド:

HQUI コマンド:

[読み込み...](#) [保存...](#) [ダウンロード...](#) [パラメータ取得...](#)

Z Mode コマンドに対する応答データを設定します。

### <設定項目>

#### [HI コマンド]

HI コマンドの応答データを設定します。

#### [HM コマンド]

HM コマンドの応答データを設定します。

#### [HS-1 コマンド]

HS-1 コマンドの応答データを設定します。

#### [HS-2 コマンド]

HS-2 コマンドの応答データを設定します。

#### [HS-3 コマンド]

HS-3 コマンドの応答データを設定します。

#### [HQMA コマンド]

HQMA コマンドの応答データを設定します。

#### [HQMI コマンド]

HQMI コマンドの応答データを設定します。

#### [HQOD コマンド]

HQOD コマンドの応答データを設定します。

#### [HQPH コマンド]

HQPH コマンドの応答データを設定します。

[HQUES コマンド]

HQUES コマンドの応答データを設定します。

[HQHA コマンド]

HQHA コマンドの応答データを設定します。

[HQJT コマンド]

HQJT コマンドの応答データを設定します。

[HQPP コマンド]

HQPP コマンドの応答データを設定します。

[HQSN コマンド]

HQSN コマンドの応答データを設定します。

[HQUI コマンド]

HQUI コマンドの応答データを設定します。

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
HI	プリンタモデル名-ヘッド dpi	可変長 省略可能	"B-SX4-200dpi" 等 MAX 63 バイト
		1	カンマ
	バージョン情報	可変長 省略可能	"C5.4" 等 MAX 63 バイト
		1	カンマ
	dots/mm	可変長 省略可能	8 12 数値のみ有効
		1	カンマ
	memory	可変長 省略可能	"512KB" "1024KB" "2048KB" "4096KB" "8192KB"
		1	カンマ
	オプション情報	可変長 省略可能	"CUTTER DETECTED" : カッター装着時 MAX 63 バイト
HM	全 RAM サイズ	可変長 省略可能	"8192" 等 数値のみ有効
		1	カンマ
	MaxRAM サイズ	可変長 省略可能	"8192" 等 数値のみ有効
		1	カンマ
	残 RAM サイズ	可変長 省略可能	RAM 残量 数値のみ有効
HS String1	Communication Setting	3 省略可能	ビット仕立てのデータを Decimal Ascii にて送信。 例) 7bit 目が ON の場合 16 進 : 0x80 → 10 進 : 128 送信データは "128" 数値のみ有効
		1	カンマ



ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
	paper out flag	1 省略可能	0 1: 紙切れ 数値のみ有効
		1	カンマ
	pause flag	1 省略可能	0 1: ポーズ中 数値のみ有効
		1	カンマ
	label length	可変長 省略可能	ラベル長 数値のみ有効
		1	カンマ
	number of formats in receive buffer	可変長 省略可能	0~999 XA~XZ フォーマット数 数値のみ有効
		1	カンマ
	buffer full flag	1 省略可能	0 1: バッファフル 数値のみ有効
		1	カンマ
	communications diagnostic mode flag	1 省略可能	0 1: ダンプモード中 数値のみ有効
		1	カンマ
	patial format flag	1 省略可能	0 1: コメント解析中 数値のみ有効
		1	カンマ
	unused	3 省略可能	000 数値のみ有効
		1	カンマ
	corrupt RAM flag	1 省略可能	0 1 数値のみ有効
		1	カンマ
	temperature range (Low)	1 省略可能	0 1: 異常 数値のみ有効
		1	カンマ
	temperature range (High)	1 省略可能	0 1: 異常 数値のみ有効
HS String2	function settings	3 省略可能	ビット仕立てのデータを Desimal Ascii にて送信。  例) 7bit 目が ON の場合 16 進: 0x80 → 10 進: 128 送信データは "128" 数値のみ有効
		1	カンマ

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
	unused	1 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	head up flag	1 省略可能	0:ヘッドクローズ 1:ヘッドオープン 数値のみ有効
		1	カンマ
	ribbon out flag	1 省略可能	0: 1:リボン切れ 数値のみ有効
		1	カンマ
	thermal transfer mode flag	1 省略可能	0: 1:Thermal 数値のみ有効
		1	カンマ
	Print Mode	1 省略可能	0 = Rewind 1 = Peel-Off 2 = Tear-Off 3 = Cutter 4 = Applicator 5 = Delayed cut 6 = Reserved ** 7 = Reserved ** 数値のみ有効
		1	カンマ
	print width mode	1 省略可能	6 数値のみ有効
		1	カンマ
	label waiting flag	1 省略可能	0: 1:剥離待ち中 数値のみ有効
		1	カンマ
	labels remaining in batch	可変長 省略可能	残枚数 数値のみ有効
		1	カンマ
	format while printing flag	1 省略可能	1 数値のみ有効
		1	カンマ
	Number of graphic images stored in memory	可変長 省略可能	グラフィック保存数 数値のみ有効
HS String3	password	4 省略可能	"1234" 等 4 バイト固定
		1	カンマ
	static RAM	1 省略可能	0 : 内蔵 RAM 非搭載 1 : 内蔵 RAM 搭載 数値のみ有効
HQMA	HEAD REPLACEMENT INTERVAL	可変長 省略可能	50 数値のみ有効
		1	カンマ

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
	HEAD REPLACEMENT FREQUENCY	可変長 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	HEAD CLEANING INTERVAL	可変長 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	HEAD CLEANING FREQUENCY	可変長 省略可能	0 数値のみ有効
		1	カンマ
	PRINT REPLACEMENT ALERT	可変長 省略可能	"NO" MAX 63 バイト
		1	カンマ
	PRINT CLEANING ALERT	可変長 省略可能	"NO" MAX 63 バイト
		1	カンマ
	UNITS	可変長 省略可能	"I" MAX 63 バイト
HQMI	CLEAN MESSAGE	可変長 省略可能	"PLEASE CLEAN PRINT HEAD" MAX 63 バイト
		1	カンマ
	REPLACE MESSAGE	可変長 省略可能	"PLEASE REPLACE PRINT HEAD" MAX 63 バイト
HQOD	TOTAL NONRESETTABLE	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
		1	カンマ
	USER RESETTABLE CNTR1	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
		1	カンマ
	USER RESETTABLE CNTR2	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
HQPH	LAST CLEANED	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
		1	カンマ
	DISTANCE 1	可変長 省略可能	PRINT 距離 数値のみ有効
HQES	ERRORS	文字列 19byte	エラー情報 例) 1 00000000 0000000B 19byte 固定 19byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること
		1	カンマ
	WARNINGS	文字列 19byte	ワーニング情報 例) 1 00000000 00000001 19byte 固定 19byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること
HQHA	MAC ADDRESS	文字列 17byte	MAC アドレス情報 例) 12:34:56:78:90:AB

ZPLCommand	コメント文字列	バイト数	受信データ
			17byte 固定 17byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること
HQJT	プリンタヘッドテスト情報	文字列 18byte	プリンタヘッドテスト情報 例) 1, M, 0250, 1200, 0032 ※パラメータ 1 つのみの為、カンマも文字列情報として扱う 18byte 固定 18byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること
HQPP	MFG	文字列 最大 30byte	メーカー情報 最大 30byte まで有効
		1	カンマ
	CMD	文字列 最大 30byte	コマンド情報 最大 30byte まで有効
		1	カンマ
	MDL	文字列 最大 30byte	プリンタモデル情報 最大 30byte まで有効
HQSN	シリアルナンバー情報	文字列 最大 35byte	プリンタシリアルナンバー情報 最大 35byte まで有効
HQUI	PID	文字列 4byte	USB_PID 情報 4byte 固定 4byte に満たない場合は先頭を 0 で埋めること
		1	カンマ
	RELEASE VERSION	文字列 5byte	RELEASE VERSION 情報 5byte 固定 5byte に満たない場合は先頭をスペースで埋めること

## <ボタン>

### [読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

### [保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

### [ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

### [パラメータ取得]

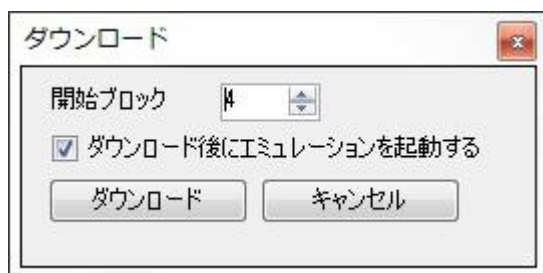
プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

※本ツールで“初期値設定&テーブルファイル”をプリンタに一度も送信していない場合は、設定情報の取り込みはできません。

### [初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

□ ダウンロード画面



[開始ブロック]

パラメータを保存するプリンタの領域を指定します。

デフォルト値	4
設定範囲	0～23

[ダウンロード後に Z Mode を起動する]

チェックを有効にするとダウンロード後に Z Mode を起動します。

[ダウンロード]

パラメータのダウンロードを開始します。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

# D Mode 初期値設定

D Mode の初期値を設定します。

## D Mode 初期値設定タブ

D Mode 初期値設定

D Mode 応答コマンド

初期値に戻す...

ファイル名:

Backup (Reverse) Speed:3.0 ips

Maximum Length Ignore:Normal processing

British Pound:Disable

Maximum Length:59.05 inch

Comm Heat Commands:Enable

Media Type:Thermal Transfer

Comm Speed Commands:Enable

Peel Mode:Disable

Comm TOF Commands:Enable

Present Distance:0.00 inch

Continuous Label Length:4.00 inch

Print Speed:5.0 ips

Control Codes:Standard

Ribbon Saver Enable:Auto

Disable Symbol Set Selection:Disable

Row Offset:0.00 inch

Feed Speed:5.0 ips

SOP Emulation:Disable

Feedback Mode:Disable

Sensor Type:Gap (edge)

Format Attributes:XOR

Single Byte Symbol Set:PM

Heat:10

Software Switch:Processed

Label Rotation:None

Unit of Measure:Imperial

Label Width:4.09 inch

読み込み...

保存...

ダウンロード...

パラメータ取得...

D Mode でコマンドやパラメータが省略された場合の初期値とコンバータ内部の動作を設定します。

### < 設定項目 >

#### [Backup (Reverse) Speed]

デフォルト値	3.0 ips
設定項目	2.0 ips、3.0 ips

#### [British Pound]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

#### [Comm Heat Commands]

デフォルト値	Enable
設定項目	Disable、Enable

#### [Comm Speed Commands]

デフォルト値	Enable
設定項目	Disable、Enable

#### [Comm TOF Commands]

デフォルト値	Enable
設定項目	Disable、Enable

[Continuous Label Length]

デフォルト値	7.00 inch
設定範囲	0.40～59.05 inch

[Control Codes]

デフォルト値	Standard
設定項目	Standard、Alternate、Alternate-2

[Disable Symbol Set Selection]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

[Feed Speed]

デフォルト値	5.0 ips
設定項目	3.0 ips、5.0 ips、6.0 ips、8.0 ips、10.0 ips

[Feedback Mode]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

[Format Attributes]

デフォルト値	XOR
設定項目	XOR、Transparent

[Heat]

デフォルト値	10
設定範囲	0～30

[Label Rotation]

デフォルト値	None
設定項目	Rotate 180、None

[Label Width]

デフォルト値	6.29 inch
設定範囲	0.75～6.29 inch

[Maximum Length Ignore]

デフォルト値	Normal processing
設定項目	Normal processing、Ignore

[Maximum Length]

デフォルト値	8.00 inch
設定範囲	0.40～59.05 inch

[Media Type]

デフォルト値	Thermal Transfer
設定項目	Direct、Thermal Transfer

[Peel Mode]

デフォルト値	Disable
設定項目	Disable、Enable

[Present Distance]

デフォルト値	0.00 inch
設定範囲	0.00～4.00 inch

[Print Speed]

デフォルト値	5.0 ips
設定項目	3.0 ips、5.0 ips、6.0 ips、8.0 ips、10.0 ips

[Ribbon Saver Enable]

デフォルト値	Auto
設定項目	Auto、Disable

[Row Offset]

デフォルト値	0.00 inch
設定範囲	0.00～1.96 inch

[SOP Emulation]

デフォルト値	Disable
設定項目	Allegro、Prodigy Plus、Prodigy、Disable

[Sensor Type]

デフォルト値	Gap (edge)
設定項目	Gap (edge)、Continuous、Reflective

[Single Byte Symbol Set]

デフォルト値	PM
設定範囲	設定はできません。

[Software Switch]

デフォルト値	Processed
設定項目	Processed、Ignore

[Unit of Measure]

デフォルト値	Imperial
設定項目	Metric、Imperial

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

[保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

[パラメータ取得]

プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

※本ツールで“D Mode 初期値設定ファイル”をプリンタに一度も送信していない場合は、設定情報の取り込みはできません。

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。



## D Mode 応答コマンドタブ

File name:  初期値に戻す...

Interpreter busy (imaging):	None	Ribbon Saver Fault:	None
Paper out or fault:	None	Print Head Up:	None
Ribbon out or fault:	None	Top of Form Fault:	None
Printing batch:	None	Ribbon Low:	None
Busy printing:	None	Ready (no data or signal):	None
Printer paused:	None	Waiting for Signal:	None
Label presented:	None	Waiting for Data:	None
(Internal)Rewinder out or fault:	None	Com1 has data not parsed:	None
Cutter Fault:	None		
Paper Out:	None		

読み込み... 保存... ダウンロード... パラメータ取得...

D Mode コマンドに対する応答データを設定します。

### < 設定項目 >

#### [Interpreter busy (imaging)]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

#### [Paper out or fault]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

#### [Ribbon out or fault]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

#### [Printing batch]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

#### [Busy printing]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

#### [Printer paused]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

#### [Label presented]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[(Internal) Rewinder out or fault]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Cutter Fault]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Paper Out]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Ribbon Saver Fault]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Print Head Up]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Top of Form Fault]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Ribbon Low]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Ready (no data or signal)]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Waiting for Signal]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Waiting for Data]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

[Com1 has data not parsed]

デフォルト値	None
設定項目	None、Yes、No

<ボタン>

[読み込み]

ファイルから設定内容を読み込みます。(他のタブの設定項目も読み込まれます。)

[保存]

設定内容をファイルに保存します。(他のタブの設定項目も保存されます。)

[ダウンロード]

設定内容をプリンタにダウンロードします。(他のタブの設定項目もダウンロードされます。)

[パラメータ取得]

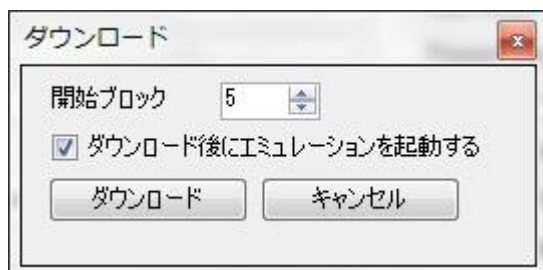
プリンタから設定情報を取り込みます。(他のタブの設定項目も取り込まれます。)

※本ツールで“D Mode 初期値設定ファイル”をプリンタに一度も送信していない場合は、設定情報の取り込みはできません。

[初期値に戻す]

設定内容を破棄し、初期値に戻します。

ダウンロード画面



[開始ブロック]

パラメータを保存するプリンタの領域を指定します。

デフォルト値	5
設定範囲	0～23

[ダウンロード後にエミュレーションを起動する]

チェックを有効にするとダウンロード後にエミュレーションを起動します。

[ダウンロード]

パラメータのダウンロードを開始します。

[キャンセル]

処理をキャンセルします。

## 5 付録

### エラーメッセージ一覧

メッセージ	説明
ログイン画面	
パスワードが正しくありません。 正しいパスワードを入力してください。 パスワードでは大文字と小文字が区別されます。	指定されたパスワードが間違っています。
パスワード変更画面	
古いパスワードが正しくありません。 正しいパスワードを入力してください。 パスワードは大文字と小文字が区別されます。	指定されたパスワードが、現在の設定されているパスワードと一致しません。
新しいパスワードと新しいパスワードの確認入力 が一致しません。 正しいパスワードを入力してください。 パスワードは大文字と小文字が区別されます。	新しいパスワードと新しいパスワードの確認入力に指定 されたパスワードが一致しません。
パラメータ設定画面	
指定されたファイルはプリンタの設定情報ファイル ではありません。 正しい形式のファイルを選択してください。	指定されたファイルが読込めません。 指定されたファイルはプリンタの設定情報ファイルの形 式ではありません。
下記パラメータの読み込みに失敗しました。デフォ ルト値を設定します。  項目名 インポートする値	インポートする値が、項目名に対しての設定可能な値では ありません。  この項目の値にはデフォルト値が設定されます。  その他の項目は、インポートした値が設定されます。
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書き込み可能な状態かを確認してくださ い。	指定されたファイルに書込めません。
入力された値が正しくありません。  タブ名   グループ名   項目名	指定された値が入力条件を満たしていません。
カスタム言語ファイル	
指定されたファイルはカスタム言語ファイルでは ありません。 正しい形式のファイルを選択してください。	指定されたファイルが読込めません。 指定されたファイルはカスタム言語ファイルの形式では ありません。
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書き込み可能な状態かを確認してくださ い。	指定されたファイルに書込めません。

ファームウェアダウンロードタブ	
指定されたファイルはプリンタの ROM ファイルではありません。 正しい形式のファイルを指定してください。	指定されたファイルが読込めません。 指定されたファイルはプリンタの ROM ファイルの形式ではありません。
指定されたファイルは「プリンタ設定」のプリンタと異なる機種種の ROM ファイルです。 正しい ROM ファイルを選択してください。	指定された ROM ファイルのプリンタ情報がプリンタ設定画面のプリンタと一致しません。
ツールタブ	
指定されたファイルの読込みに失敗しました。 ファイルが読込み可能な状態かを確認してください。	指定されたファイルを読込めません。
外字作成タブ	
指定されたフォルダに登録可能なモノクロビットマップファイルがありません。 正しい形式のファイルがあるフォルダを指定してください。	指定されたフォルダに有効なモノクロビットマップファイルが見つかりません。 ・ ファイル名 ・ ビットマップ形式 ・ ビットマップサイズ
指定されたファイルはモノクロビットマップファイルではありません。 正しい形式のファイルを指定してください。	指定されたファイルはモノクロビットマップファイルではありません。
指定されたファイルは登録可能な外字の幅、または、高さをオーバーしています。 正しいサイズのファイルを指定してください。	ビットマップの幅、または、高さドットが外字として登録可能なドット数を超過しています。
外字ファイルの作成に失敗しました。 ビットマップリストのビットマップファイルが読込み可能な状態か確認してください。	ビットマップリストのビットマップファイルが読込めません。 外字コマンドの作成に失敗しました。
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書込み可能な状態かを確認してください。	指定されたファイルに書込めません。
テスト印字タブ	
印字データの作成に失敗しました。 本製品の再起動後に実行して印字できない場合、再インストールしてください。	印字するイメージを保存したファイルが読込めません。 印字コマンドの作成に失敗しました。
完了画面	
指定されたファイルへの保存に失敗しました。 ファイルが書込み可能な状態かを確認してください。	指定されたファイルに書込めません。

2023 年 5 月 第 16 版発行

**発 行 東芝テック株式会社**

〒141-8562

東京都品川区大崎 1 丁目 11 番 1 号  
ゲートシティ大崎ウエストタワー

©東芝テック株式会社 2016-2023

無断複写および転載を禁ず